

外務省
自
年
月
日

滿州國^ノ境地方ニ於テ紛争雜件
滿蒙現地國境面定委員會(昭和十五年度作業關係)

第

A
4
6
1
M
X 2-3

自
年
月
日
至
年
月
日

滿州國^ノ境地方ニ於テ紛争雜件
滿蒙現地國境面定委員會(昭和十五年度作業關係)

第

卷

REEL No. A-0493

A 4.6.1. MAX 2-2-2-7

極秘

康德六年（千九百三十九年）紛争アリタル地域ニ於ケル滿洲帝國及蒙古人
民共和國間現地國境確定混成委員會ノ作業ニ關スル綜合議定書及附屬文書

滿洲帝國外務局
康德 年 月 日 作成
作成部 數 三 部
一連番號 四 部

REEL No. A-0493

0225

アジア歴史資料センター

康徳六年千九百二十九年紛争アリタル地域ニ於ケル滿洲帝國及蒙古
人民共和國間現地國境確定混成委員會ノ作業ニ關スル綜合議定書

滿洲帝國全權委員下村信禎及博彥滿都並ニ蒙古人民共和國全權委員トルチバトト及スミ
ルノワドミトリイワノウキチハ康徳七年六月九日附東郷モロトフ申合康徳七年七月十八日
附東郷ロゾフスキ申合並ニ康徳八年六月十四日附滿洲帝國及蒙古人民共和國間現地國境
確定混成委員會會議事録ニ基キ康徳六年紛争アリタル地域ニ於ケル滿洲帝國及蒙古人民
共和國間ノ國境ヲ康徳七年及同八年ニ互リ現地ニ就キ確定シ永久的ニ國境ヲ標識セリ
確定セラレタル國境線ハ本議定書附屬地圖及國境線通過記録ニ記載セラレタル通り現地ニ於
テ通過シ且垂直方向ニ空間及地中ノ境界ヲ定ム
國境線ハ陸地ニ於テハ地中界標ノ十字ヲ以テ標示セラレタル國境標識ノ中心ヲ通過シ河川
（溪流）ニ於テハ其ノ本流ノ中央ヲ通過ス

將來前記本流ノ河床ノ位置ニ自然的變動アルモ國境線ハ移動スルコトナク康徳八年確定セ
ラレタル其ノ位置及形狀ヲ儘トシ兩國政府ノ合意ニ依ルニアラザレバ變更セラレザルモノ
トス

確定セラレタル國境ハ、ボイル湖北岸ホイト・エリグ第一ノ號主要國境標識ヨリアマラルテイ
 ンホーラ第 XVII 192 號主要國境標識ニ至ル延長二百五十六キロメートル七九センチテ内陸地地區
 ニ於ケル國境ハ、五百五十三キロメートル五二河川地區ニ於ケル國境ハ、百三十三キロメートル二七
 九センチニシテ、
 (第一) 第一ノ號主要國境標識ニ至ル延長二百五十六キロメートル七九センチテ内陸地地區
 國境線標示ニ關スル技術的作業實施ハ、爲國境ヲ二地區ニ區分セリ。第一ノ號主要國境標識ヨリアマラルテイ
 第一地區ハ、ボイル湖北岸ホイト・エリグ第一ノ號主要國境標識ヨリアマラルテイ・ウリイン・オボ第
 IX 71 號主要國境標識ニ至ル延長百二十七キロメートル八五センチテ本地區ノ作業ハ、
 蒙古人民共和國側ニテ遂行シ、滿洲帝國側ハ、該作業ノ點檢調整ヲ行ヘリ。
 第二地區ハ、アマラルテイ・ウリイン・オボ第 IX 71 號主要國境標識ニ至ル延長百二十七キロメートル八五センチテ
 本地區ノ作業ハ、滿洲
 帝國側ニテ遂行シ、蒙古人民共和國側ハ、該作業ノ點檢調整ヲ行ヘリ。第一ノ號主要國境標識ヨリアマラルテイ・ウリ
 ンホーラ第 XVII 192 號主要國境標識ニ至ル延長百二十七キロメートル七九センチテ本地區ノ作業ハ、
 滿洲帝國側ニテ遂行シ、蒙古人民共和國側ハ、該作業ノ點檢調整ヲ行ヘリ。第一ノ號主要國境標識ヨリアマラルテイ・ウリ
 ンホーラ第 IX 71 號主要國境標識ニ至ル延長百二十七キロメートル八五センチテ本地區ノ作業ハ、
 蒙古人民共和國側ニテ遂行シ、滿洲帝國側ハ、該作業ノ點檢調整ヲ行ヘリ。
 國境ニ於ケル測量作業實施ニ當テ、アマラルテイ・ウリイン・オボ第 IX 71 號主要國境標識ノ中心ヲ
 原點トセリ。
 前記原點ノ地理學的座標及方位角ハ、天文測量ニ依リ求得タル、
 九分五十五秒六三、經度百十九度七分四秒五九、エリスウリ・ウリイン・オボ第 X 79 號主要國境標識ノ
 中心ニテ、方位角ハ、百七十三度三十三分四十三秒五ナリ。

中心ニテ、方位角ハ、百七十三度三十三分四十三秒五ナリ。
 原點ノ座標及方位角ハ、天文測量ニ依リ求得タル、
 九分五十五秒六三、經度百十九度七分四秒五九、エリスウリ・ウリイン・オボ第 X 79 號主要國境標識ノ
 中心ニテ、方位角ハ、百七十三度三十三分四十三秒五ナリ。
 原點タル地上界標ノ頂點ノ海面ヨリノ高サハ、千メートルト假定セリ。
 主要國境標識ハ、主要國境標識及中間國境標識ノ二種類ニ分チ確定セラレタル國境線ノ端末點及
 主要ナル屈折點ニテ、主要國境標識、其ノ中間點ニハ、中間國境標識ヲ設置セリ。
 (一) 主要國境標識ハ、地上界標、地中界標及標柱ヨリ成ル。標柱ハ、
 地上界標ハ、コンクリートトシ、
 地中界標ハ、
 方地下ニ埋メ、
 標柱ハ、地上界標ノ兩側、國境線ヨリ通則トシテ、
 國境線ヲ陸地ヨリ、
 (二) 中間國境標識ハ、陸地ニ於テハ、
 地中界標ハ、
 國境線ヨリ、

本議定書ノ附屬トシテ左記文書ヲ作成セリ
 (一) 國境線通過記錄 日本文及露西亞文 各二通計四通
 (二) 國境地圖帖 內 國境地圖圖葉配列圖 各通二葉
 國境地圖 梯尺二萬五千分一 各通二十一葉
 (三) 測地要圖及成果帖 內 測地要圖配列圖 各通二葉
 測地要圖 梯尺二萬五千分一 各通二十一葉
 測地成果表 各通十九葉
 (四) 國境標識ニ關スル議定書 日本文及露西亞文 各二通計四通 各通百三十二葉
 (五) 國境標識明細書附圖共 日本文及露西亞文 各二通計四通
 (六) 國境標識ノ保全ニ關スル規程 日本文及露西亞文 各二通計四通
 兩國全權委員ハ本議定書ヲ日本文二通露西亞文二通計四通作成シ前記附屬文書ト共ニ署名
 副印ノ上ニ通ヲ交換セリ
 前記文書ハ日本文及露西亞文共原本ニシテ何レモ同一效力ヲ有ス
 本議定書及附屬文書ハ成ルベシ速ニ滿洲帝國政府及蒙古人民共和國政府ニ依リ正式ニ確認

本議定書ノ附屬トシテ左記文書ヲ作成セリ
 (一) 國境線通過記錄 日本文及露西亞文 各二通計四通
 (二) 國境地圖帖 內 國境地圖圖葉配列圖 各通二葉
 國境地圖 梯尺二萬五千分一 各通二十一葉
 (三) 測地要圖及成果帖 內 測地要圖配列圖 各通二葉
 測地要圖 梯尺二萬五千分一 各通二十一葉
 測地成果表 各通十九葉
 (四) 國境標識ニ關スル議定書 日本文及露西亞文 各二通計四通 各通百三十二葉
 (五) 國境標識明細書附圖共 日本文及露西亞文 各二通計四通
 (六) 國境標識ノ保全ニ關スル規程 日本文及露西亞文 各二通計四通
 兩國全權委員ハ本議定書ヲ日本文二通露西亞文二通計四通作成シ前記附屬文書ト共ニ署名
 副印ノ上ニ通ヲ交換セリ
 前記文書ハ日本文及露西亞文共原本ニシテ何レモ同一效力ヲ有ス
 本議定書及附屬文書ハ成ルベシ速ニ滿洲帝國政府及蒙古人民共和國政府ニ依リ正式ニ確認

セラルルモ...
 康徳八年十月十五日即チ蒙古人民共和國三十一年十月十五日哈爾濱市ニ於テ
 (一) 滿洲帝國全權委員 下村信禎
 (二) 蒙古人民共和國全權委員 下村信禎
 (三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (十) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (十一) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (十二) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (十三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (十四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (十五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (十六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (十七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (十八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (十九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (二十) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (二十一) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (二十二) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (二十三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (二十四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (二十五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (二十六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (二十七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (二十八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (二十九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (三十) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (三十一) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (三十二) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (三十三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (三十四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (三十五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (三十六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (三十七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (三十八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (三十九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (四十) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (四十一) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (四十二) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (四十三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (四十四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (四十五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (四十六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (四十七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (四十八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (四十九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (五十) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (五十一) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (五十二) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (五十三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (五十四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (五十五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (五十六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (五十七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (五十八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (五十九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (六十) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (六十一) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (六十二) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (六十三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (六十四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (六十五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (六十六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (六十七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (六十八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (六十九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (七十) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (七十一) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (七十二) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (七十三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (七十四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (七十五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (七十六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (七十七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (七十八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (七十九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (八十) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (八十一) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (八十二) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (八十三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (八十四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (八十五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (八十六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (八十七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (八十八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (八十九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (九十) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (九十一) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (九十二) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (九十三) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (九十四) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (九十五) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (九十六) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (九十七) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (九十八) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都
 (九十九) 滿洲帝國全權委員 博彦滿都
 (一百) 蒙古人民共和國全權委員 博彦滿都

康徳六年(千九百三十九年)紛争アリタル地域ニ
 於ケル滿洲帝國及蒙古人民共和國間現地國境確定
 混成委員會ノ作業ニ關スル綜合議定書附屬第一號
 國境通過記
 康徳八年千九百四十三年八月十五日確定ヲ終リタル滿洲帝國及蒙古人民共和國間ノ國境線
 ハ現地ニ於テ左記記録ノ通過スルニ於テ

地區番號	主要國境標識間ノ地區	國境線ノ方向	國境線ノ延長(杆)
一	ホイト・エリグ第I號—ムホル・オボ第II號	北東	六〇八
二	ムホル・オボ第II號—アフィン・トロゴイ第III號	東北東	二七五六
三	アフィン・トロゴイ第III號—バンドウ第IV號	東北東	七〇八
四	バンドウ第IV號—エリグ・ウス第V號	南東	一七七八
五	エリグ・ウス第V號—ゼギス第VI號	東南東	二八六七
六	ゼギス第VI號—シリ・ホドク第VII號	東	八二五
七	シリ・ホドク第VII號—ノモン・ハンタル・オボ第VIII號	南南東	二八四九
八	ノモン・ハンタル・オボ第VIII號—フラト・ウリイン・オボ第IX號	東南東	二九四四
九	フラト・ウリイン・オボ第IX號—エリス・ウルイン・オボ第X號	南	一三六九

十	エリスウルイン・オボ第IX 79 號	東	四・三
九	オンドル第XI 83 號	東南	三・六
八	ハラトウライン・オボ第XII 96 號	東	三・六
七	ハラトウライン・オボ第XII 96 號	東南	三・六
六	ウルズール第XIII 101 號	南	六・九
五	ベリチル第XIV 120 號	南	七・六
四	ハツタオーラ第XV 129 號	南	三・七
三	ハツタオーラ第XV 129 號	南	三・七
二	ハツタオーラ第XVI 126 號	南	四・九
一	ハツタオーラ第XVI 126 號	南	七・五
計		南	二五・九

一、國境線ハムホル・オボ第II 4 號及ホイト・エリグ第I 1 號兩主要國境標識ヲ結ブ國境線ノ延線ト湖岸線トノ交點ケルポイル湖北岸ノ地點ヨリ始マリ其ノ北東方ホイト・エリグ第I 1 號主要國境標識ニ至ル同國境標識ハポイル湖ヨリ國境線ニ順ヒ二四七米ニシテ砂丘上ニ在リ

國境線ハホイト・エリグ第I 1 號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ北東方ニ向ヒ第I 2 號及第I 3 號中間國境標識ヲ經テムホル・オボ第II 4 號主要國境標識ニ至ル

本地區ニ於テ國境線ハホイト・エリグ第I 1 號主要國境標識ヨリ小波狀ノ曠原ヲ通過スルコトニシテ第I 2 號國境標識ヨリ平坦地ヲ進ミ無名湖ノ西方一〇〇米ノ距離ニ於テ蘆ノ

生育セル低濕地西端ヲ横斷シテ第I 3 號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第I 2 號國境標識ヨリ二〇軒ニシテ無名湖ノ北方六〇〇米ニ在リ

國境線ハ第I 3 號國境標識ヨリ漸次北方ニ隆起スル平坦地ヲ通過スルコトニシテ五米高サ約三米ノ古墳上ニ在リ

二、國境線ハムホル・オボ第II 4 號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ北東方ニ向ヒ第II 5 號乃至第II 13 號中間國境標識ヲ經テフイン・トロコイ第III 14 號主要國境標識ニ至ル

本地區ニ於テ國境線ハムホル・オボ第II 4 號主要國境標識ヨリ二五〇米進ミ幅五〇米ノウルシン河ヲ横斷シタル後同河右岸蘆ノ生育セル濕地ヲ二二〇米通過シ更ニ丘陵性平坦地ニ出テ四個所ニ於テ酒渴セル若河床ヲ通過シ第II 5 號國境標識ニ至ル同國境標識ハムホル・オボ第II 4 號主要國境標識ヨリ二・三軒ニシテ二酒渴河床ノ交會點ノ北東方七五米ノ丘陵性平坦地ニ在リ

國境線ハ第II 5 號國境標識ヨリ五五〇米及八〇〇米ノ地點ニ於テ草木ノ生育セル深サ〇・五米ノ酒渴河床ヲ九五〇米ノ地點ニ於テ深サ〇・三米ノ四階部ヲ通過シ第II 6 號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第II 6 號國境標識ヨリ平坦ナル曠原ヲ進ミ四五〇米ニシテ小凹地ヲ過リ第II 7 號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第II 6 號國境標識ヨリシヤリリジン河迄連續セル草原ヲ進ミ同國境標識ヨリ

ケル第十三號第十七號第十八號及第二十三號島嶼、滿洲帝國、第十四號第十五號第十六號及第十九號島嶼、蒙古人民共和國、歸屬ス、
國境線ハ第V₂₂號國境標識ヨリ略東方ニ進ムコト、五杆ニシテ南東方ニ轉ジ約一〇〇杆ニシテ更ニ東方ニ轉ジ一五杆ニシテ第V₂₃號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第二十三號第二十四號第二十六號第二十七號及第二十九號島嶼ハ滿洲帝國、第三十一號第三十二號第三十五號第三十八號第三十九號及第三十八號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス、
國境線ハ第V₂₄號國境標識ヨリ略東南東ニ向ヒ進ムコト、八杆ニシテ第V₂₅號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第三十九號第四十號島嶼ハ滿洲帝國、第四十二號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス、
國境線ハ第V₂₆號國境標識ヨリ略南東ニ向ヒ進ムコト、二〇杆ニシテ北東ニ轉ジ更ニ進ムコト、二〇杆ニシテ第V₂₆號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第四十四號第四十五號及第四十六號島嶼ハ滿洲帝國、第四十三號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス、
國境線ハ第V₂₆號國境標識ノ兩標柱間ハルハ河本流中央點ヨリ此等兩標柱ヲ結ブ直線ニ上滿領内標柱ヨリ五・九米ノ同河右岸線上ノ地點ニ進ム更ニ同地點ヨリ直線ヲオシテ東進スルコト、八五米ニシテセギス第VI₂₇號主要國境標識ニ至ル同國境標識ハハルハ河右岸ヨリ四二米同河右岸高地ノ雨裂ニ直線シ同雨裂南端ヨリ約五〇〇米ニ在リ、
六、國境線ハセギス第VI₂₇號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ東方ニ向ヒ第VI₂₈號乃至第VI₂₉號中間國境標識ヲ經テシリジ、ホドク第VII₂₉號主要國境標識ニ至ル、
本地區ニ於テ國境線ハセギス第VI₂₇號主要國境標識ヨリ最初平坦地ヲ進ム同國境標識ヨリ一〇杆ニシテハルハ河右岸臺地ニ達シ、五杆ニシテハルハ河ニ向ヒ南南西方ニ走リ、七杆ニシテ臺地ヲ緩斜面ニ位シハルハ河ニ向ヒ南南西方ニ走リ、小谷ヲ東端ヨリ東南方二五米ニ在リ、
國境線ハ第VI₂₈號國境標識ヨリ臺地ヲ緩斜面ヲ上リ三〇〇米ニシテ小谷ヲ横斷シ第VI₂₉號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VI₂₈號國境標識ヨリ五〇〇米ニシテ小凹地ヲ西側ニ位シ南西方向ニ走リ小谷ノ西端ヨリ北西方九〇米ニ在リ、
國境線ハ第VI₂₉號國境標識ヨリ九〇〇米ノ間處々ニ凹陷地及砂丘ヲ有スル不齊地ヲ通過シ第VI₃₀號國境標識ニ至ル同國境標識ハ小灌木ノ叢生セルエリスト砂丘上ニ在リ、
國境線ハ第VI₃₀號國境標識ヨリ一五〇米ノ間砂丘上ヲ通過シ更ニ草本ノ生育セル平坦地ヲ進ム第VI₃₁號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VI₃₀號國境標識ヨリ一三杆ニシテ平坦地ニ在リ、
國境線ハ第VI₃₁號國境標識ヨリ三五〇米ニシテ湖ニ達シ之ヲ殆ク兩斷シ進ムコト、更ニ

ケル第十三號第十七號第十八號及第二十三號島嶼、滿洲帝國、第十四號第十五號第十六號及第十九號島嶼、蒙古人民共和國、歸屬ス、
國境線ハ第V₂₂號國境標識ヨリ略東方ニ進ムコト、五杆ニシテ南東方ニ轉ジ約一〇〇杆ニシテ更ニ東方ニ轉ジ一五杆ニシテ第V₂₃號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第二十三號第二十四號第二十六號第二十七號及第二十九號島嶼ハ滿洲帝國、第三十一號第三十二號第三十五號第三十八號第三十九號及第三十八號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス、
國境線ハ第V₂₄號國境標識ヨリ略東南東ニ向ヒ進ムコト、八杆ニシテ第V₂₅號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第三十九號第四十號島嶼ハ滿洲帝國、第四十二號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス、
國境線ハ第V₂₆號國境標識ヨリ略南東ニ向ヒ進ムコト、二〇杆ニシテ北東ニ轉ジ更ニ進ムコト、二〇杆ニシテ第V₂₆號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第四十四號第四十五號及第四十六號島嶼ハ滿洲帝國、第四十三號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス、
國境線ハ第V₂₆號國境標識ノ兩標柱間ハルハ河本流中央點ヨリ此等兩標柱ヲ結ブ直線ニ上滿領内標柱ヨリ五・九米ノ同河右岸線上ノ地點ニ進ム更ニ同地點ヨリ直線ヲオシテ東進スルコト、八五米ニシテセギス第VI₂₇號主要國境標識ニ至ル同國境標識ハハルハ河右岸ヨリ四二米同河右岸高地ノ雨裂ニ直線シ同雨裂南端ヨリ約五〇〇米ニ在リ、
六、國境線ハセギス第VI₂₇號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ東方ニ向ヒ第VI₂₈號乃至第VI₂₉號中間國境標識ヲ經テシリジ、ホドク第VII₂₉號主要國境標識ニ至ル、
本地區ニ於テ國境線ハセギス第VI₂₇號主要國境標識ヨリ最初平坦地ヲ進ム同國境標識ヨリ一〇杆ニシテハルハ河右岸臺地ニ達シ、五杆ニシテハルハ河ニ向ヒ南南西方ニ走リ、七杆ニシテ臺地ヲ緩斜面ニ位シハルハ河ニ向ヒ南南西方ニ走リ、小谷ヲ東端ヨリ東南方二五米ニ在リ、
國境線ハ第VI₂₈號國境標識ヨリ臺地ヲ緩斜面ヲ上リ三〇〇米ニシテ小谷ヲ横斷シ第VI₂₉號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VI₂₈號國境標識ヨリ五〇〇米ニシテ小凹地ヲ西側ニ位シ南西方向ニ走リ小谷ノ西端ヨリ北西方九〇米ニ在リ、
國境線ハ第VI₂₉號國境標識ヨリ九〇〇米ノ間處々ニ凹陷地及砂丘ヲ有スル不齊地ヲ通過シ第VI₃₀號國境標識ニ至ル同國境標識ハ小灌木ノ叢生セルエリスト砂丘上ニ在リ、
國境線ハ第VI₃₀號國境標識ヨリ一五〇米ノ間砂丘上ヲ通過シ更ニ草本ノ生育セル平坦地ヲ進ム第VI₃₁號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VI₃₀號國境標識ヨリ一三杆ニシテ平坦地ニ在リ、
國境線ハ第VI₃₁號國境標識ヨリ三五〇米ニシテ湖ニ達シ之ヲ殆ク兩斷シ進ムコト、更ニ

二〇〇米ニシテ平坦地ニ出テ第VI 32號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VI 31號國境標識ヨリ一八杆ニシテサンギヤ湖ヨリ漸次南方ニ隆起スル緩斜面ニ在リ
國境線ハ第VI 32號國境標識ヨリ起伏少キ平坦地ヲ進ミサンギヤ湖ノ南方四五〇米ノ地點ヲ通過シシリノホドク第VII 33號主要國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VI 32號國境標識ヨリ一八杆ニシテサンギヤ湖ノ南方一〇杆ノ平坦地ニ在リ
七國境線ハシリノホドク第VII 33號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ南東方ニ向ヒ第VII 34號乃至第VII 37號中間國境標識ヲ經テノモンハンアルトオホ第VII 38號主要國境標識ニ至ル
本地區ニ於テ國境線ハシリノホドク第VII 33號主要國境標識ヨリ稀ニ濕地ヲ有スル平坦地ヲ進ミ同國境標識ヨリ六〇〇米ニシテ南西ヨリ北東ニ走ル臨時道路ヲ過リ第VII 34號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VII 33號國境標識ヨリ一七杆ニシテ平坦ナル曠原ニ在リ
一四杆ニ在ル第VII 35號國境標識ニ至ル
國境線ハ第VII 35號國境標識ヨリ一〇杆ニシテ鹽澤性低地ヲ横斷シ同低地ニ在リ湖ノ南西方一五〇米ノ地點及バンカンガンガ砂丘東方三〇〇米ヲ通過シ更ニ草地ニ上リ第VII 36號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VII 35號國境標識ヨリ二〇杆ニシテ小草地ノ稜線上ニ位シバンカンガンガ砂丘ノ東南東方四〇〇米ニシテ湖ノ南方四〇〇米ニ在リ
國境線ハ第VII 36號國境標識ヨリ稍濕潤ナル底部ヲ有スル凹地ヲ横斷シ更ニ緩斜面ニ在リ第VII 37號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VII 36號國境標識ヨリ一四杆ニシテ凹地間ニ在ル

地間ニ在ル草地ニ在リ
國境線ハ第VII 37號國境標識ヨリ緩斜面ヲ進ミ幅廣キ凹地ニ下リ之ヲ横斷シ同國境標識ヨリ一五杆ニシテ酒渴セルエンゲル湖(鹹)ノ西岸ヲ約七〇米掠メ第VII 38號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VII 37號國境標識ヨリ一六杆ニシテエンゲル湖(鹹)ノ南岸ニ在リ
國境線ハ第VII 38號國境標識ヨリ一三杆ニ互リ漸次傾斜ヲ加フル平坦ナル斜面ヲ進ミ第VII 39號國境標識ニ至ル同國境標識ハ東西ニ走ル草地上ニ位シジャグジン湖(鹹)ノ東方七〇〇米ニ在リ
國境線ハ第VII 39號國境標識ヨリ平坦地ヲ進ムト四五〇米ニシテジャグジン湖(鹹)ノ西面スル小凹地ヲ過リ第VII 40號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VII 39號國境標識ヨリ一〇杆ニシテ緩傾斜草地ノ南側斜面ニ在リ
國境線ハ第VII 40號國境標識ヨリホズイ湖(鹹)ノ東方凹地ノ底部ヲ横斷シ平坦ナル緩斜面ヲ上リ第VII 41號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VII 40號國境標識ヨリ一八杆ニシテ小波狀地ニ在リ
國境線ハ第VII 41號國境標識ヨリ一七杆ニ互リ南東ニ稍隆起スル緩斜面ヲ進ミ第VII 42號國境標識ニ至ル同國境標識ハ緩斜面ノ草地上ニ在リ
國境線ハ第VII 42號國境標識ヨリ一三杆ニ互リ起伏地ヲ進ミクル後第VII 43號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VII 42號國境標識ヨリ一四杆ノ平坦地ニ在リ
國境線ハ第VII 43號國境標識ヨリ緩ナル小高キ草地ノ西側斜面ニ在リ第VII 44號國境標識

至ル此ノ間ニ四軒ニ至リ兩國境標識ニ近接スルニ個ノ凹地及此等兩凹地ノ略中間ニ
位スル小丘ヲ通過スルニ至リ
國境線ハ第VII 47號國境標識ヨリ二軒ノ間草本ノ疎生セル平坦地ヲ進ミ第VII 46號國境
標識ニ至リ更ニ一軒ノ間稍濕潤ナル平坦地ヲ過リ第VII 46號國境標識ニ至リ次デ一四
軒ノ間平坦地ヲ進ミ第VII 47號國境標識ニ至ル兩國境標識ハ砂丘ノ東側斜面上其ノ頂上
ヨリ三〇米ニ在リ
國境線ハ第VII 47號國境標識ヨリ緩斜面ヲ下ルニ至リ九〇〇米ニシテ小凹地及小丘ノ頂上
ヲ通過シ更ニ幅約四〇〇米ノ凹地ヲ横斷シテ第VII 48號國境標識ニ至ル兩國境標識ハ第
VII 47號國境標識ヨリ二軒ニシテ東西ニ走ル低地ノ末端ニ在リ
國境線ハ第VII 48號國境標識ヨリ處々濕地ヲ有スル平坦地ヲ過リ第VII 48號國境標識ヨリ
一四軒ニシテウズル水ノ西方ニ〇〇米ヲ通過シ更ニ處々ニ砂丘及凹陥部ヲ有スル起伏
地ヲ過リ第VII 49號國境標識ニ至ル兩國境標識ハ第VII 48號國境標識ヨリ二軒ニシテウ
ズル水ノ南方五〇〇米ノ砂丘上ニ在リ
國境線ハ第VII 49號國境標識ヨリ約三〇〇米ノ間草本ノ疎生セル小砂丘及凹地ヲ通過シ
更ニ稍濕潤ナル平坦地ヲ經テ第VII 50號國境標識ニ至ル兩國境標識ハ第VII 49號國境標識
ヨリ一八軒ニシテ臺地ノ東側斜面ニ在リ
國境線ハ第VII 50號國境標識ヨリ三〇軒ノ間緩斜面ヲ下リ第VII 51號國境標識ニ至ル兩國
境標識ハ草本ニ覆ビタル緩斜面ノ南側斜面ニ在リ

八、國境線ハ第VII 51號國境標識ヨリ七〇〇米ノ間斜面ヲ下リ兩國境標識ヨリ一〇軒ニ在ル
大凹地ノ東側ヲ進ミ緩斜面ヲ上リテノモンハンフルトオボ第VIII 52號主要國境標識ニ至
ル兩國境標識ハ第VII 51號國境標識ヨリ一五軒ニシテ砂丘ノ小支脈上ニ位シ砂質凹地ノ
末端ヨリ西方五〇米及同凹地ニ對向シ草本ノ生育セル凹地ノ南方一〇〇米ニ在リ
國境線ハ第VIII 52號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ東南東方ニ向ヒ
第VIII 53乃至第VIII 70號中間國境標識ヲ經テフラトウリインオボ第IX 71號主要國境標識ニ至
ル

本地區ニ於テ國境線ハノモンハンフルトオボ第VIII 52號主要國境標識ヨリ一軒ノ間處
々ニ砂丘及凹陥地ヲ有シ灌木ノ生育セル砂質地帯ヲ下リ第VIII 53號國境標識ニ至ル兩國
境標識ハ灌木ノ疎生セル砂丘上ホルステン河ノ北西方六〇〇米ニ在リ
國境線ハ第VIII 53號國境標識ヨリ一四軒ノ間砂丘及凹地ヲ進ミ兩國境標識ヨリ六〇〇米
ニシテホルステン河ヲ横斷シ緩斜面ヲ上リ臺地上ノ第VIII 54號國境標識ニ至ル
國境線ハ第VIII 54號國境標識ヨリ臺地ノ斜面ヲ進ミ五〇〇米ニシテ細流ヲ過リ更ニ緩斜
面ヲ上リ第VIII 54號國境標識ヨリ一四軒ニ在ル第VIII 55號國境標識ニ至ル
國境線ハ第VIII 55號國境標識ヨリ斜面ヲ下リ五〇〇米ニシテ湖ヨリ南方ニ展ビタル傾斜
緩ナル凹地ノ底部ヲ横斷シ更ニ斜面ヲ上リ第VIII 56號國境標識ニ至ル兩國境標識ハ第VIII 55
號國境標識ヨリ一六軒ニシテ凹地ヲ有スル砂丘上ニ在リ
國境線ハ第VIII 56號國境標識ヨリ三五〇米ニ至リ處々ニ砂丘及凹陥地ヲ有シ且草本ノ疎生

セル基地の斜面ヲ下リ更ニ緩斜面ヲ上リ第VIII 67號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VIII 66
號國境標識ヨリ一・一杆ニシテ凹地ヲ有スル砂丘ノ南西側斜面ニ在リ
國境線ハ第VIII 67號國境標識ヨリ平坦地ヲ進ミ七〇〇米ニシテ小砂丘ヲ横斷シ更ニ一・二
杆ニシテ平地ニ在リ第VIII 68號國境標識ニ至ル
國境線ハ第VIII 68號國境標識ヨリ九〇〇米ノ間先ツ平坦地ヲ次テ砂質凹地及砂丘ヲ通過
シタル後第VIII 69號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VIII 68號國境標識ヨリ一・三杆ニシテ砂
丘ノ南南東側斜面上其ノ頂上ヨリ九〇米ノ草叢附近ニ在リ
國境線ハ第VIII 69號國境標識ヨリ一・六杆ノ間小灌木ヲ疎生シ獨立砂丘ニ依リ圍繞セラレ
タル小波狀地ヲ通過シタル後處々砂丘及凹地ニ依リ切斷セラレタル地域ヲ進ミ第VIII 60
號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VIII 69號國境標識ヨリ一・九杆ニシテ砂丘群中ノ一砂丘
上ニ位シ深キ凹地ノ西方五〇米ニ在リ
國境線ハ第VIII 60號國境標識ヨリ灌木ヲ疎生セル平坦地ヲ進ムコト六〇〇米ニシテ凹地
ヲ稍濕潤ナル底部ヲ横斷シ更ニ六〇〇米ニシテ第VIII 61號國境標識ニ至ル同國境標識ハ
草木ノ繁茂セル平坦地ニ位シ灌木ヲ疎生セル獨立砂丘ノ北方三〇〇米ニ在リ
國境線ハ第VIII 61號國境標識ヨリ一・八杆ノ間平坦地ヲ進ミ第VIII 62號國境標識ニ至ル同國
境標識ハ砂丘ノ南西端ニ位シトスハイ・マン・ハン砂丘頂上ヨリ北東方八〇〇米ニ在リ
國境線ハ第VIII 62號國境標識ヨリ一・八杆ニ進ミ小波狀地ヲ進ミ獨立砂丘ノ北方七〇〇米
ニ位スル第VIII 63號國境標識ニ至ル

國境線ハ第VIII 63號國境標識ヨリ平坦地ヲ進ムコト九〇〇米ニシテ砂丘麓ニ至リ更ニ草
木ヲ疎生セル緩斜面ヲ上リ第VIII 64號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VIII 63號國境標識ヨ
リ一・〇杆ニシテ深キ凹地ヲ有スル大砂丘ノ北東端ニ在リ
國境線ハ第VIII 64號國境標識ヨリ松樹ノ疎生セル地域ニ入ル
國境線ハ同國境標識ヨリ砂丘下リ小低地ノ底部ヲ横斷シ更ニ砂丘ノ斜面ヲ上リ第VIII 65
號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VIII 64號國境標識ヨリ八〇〇米ニシテ東側ヨリ凹地
及砂丘ヲ以テ圍繞セラレタル砂丘上ニ在リ
國境線ハ第VIII 65號國境標識ヨリ三・三杆ノ間獨立樹ノ疎生シ砂丘及凹地ノ錯雜地ヲ經テ
第VIII 66號國境標識ニ至ル同國境標識ハ砂丘上ニ位シ深キ砂質凹地ノ南方五二米ニ在リ
國境線ハ第VIII 66號國境標識ヨリ一・六杆ノ間砂丘ヲ横斷シ松樹ノ疎生セル小波狀地ヲ通
過シ第VIII 67號國境標識ニ至ル同國境標識ハ砂丘ニ依リ圍繞セラレタル平坦地ニ隆起セ
ル砂質基地ニ在リ
國境線ハ第VIII 67號國境標識ヨリ疎林ヲ有スル砂丘ニ依リ圍繞セラレタル小波狀地ヲ進
ミ平坦地ヲ通過シ第VIII 68號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VIII 67號國境標識ヨリ一・三〇杆
ニシテ砂丘上ニ在リ
國境線ハ第VIII 68號國境標識ヨリ砂丘ヲ下リ松樹ノ疎生セル平坦地ヲ過リ更ニ砂丘及凹
陥地ヲ經テ第VIII 69號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第VIII 68號國境標識ヨリ一・八杆ニシテ
砂丘ノ南西側斜面上其ノ頂上ヨリ八〇〇米ニ在リ

國境線第VIII 69號國境標識ヨリ砂丘ノ斜面ヲ下リ深キ凹陷地ニ入り更ニ斜面ヲ上リテ
處々砂丘及凹地ヲ有スル平坦地ヲ通過シ第VIII 70號國境標識ニ至リ同國境標識ハ第VIII 69
號國境標識ヨリ八ノ十ノ砂丘上ニ位シ切株ヲ有スル砂丘ノ南南東方ヨリ八〇米ニ在
リ

國境線第VIII 70號國境標識ヨリ五〇〇米ノ間起伏地ヲ次テ疎林ヲ有スルフラトウリイ
ン・オホ高地ノ西側斜面ヲ上リフラトウリイン・オホ第IX 71號主要國境標識ニ至リ同國境
標識ハ第VIII 70號國境標識ヨリ二・五ノ十ノフラトウリイン・オホ高地ノ頂上ニ在リ

九、國境線第IX 71號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ南方ニ向ヒ第IX 72
號乃至第IX 78號中間國境標識ヲ經テエリス・ウルイン・オホ第X 79號主要國境標識ニ至ル
本地區ニ於テ國境線ハフラトウリイン・オホ第IX 71號主要國境標識ヨリフラトウリイン・
オホ高地斜面ヲ下リ同山麓ヨリ砂丘及凹陷地ノ錯綜セル地帯ヲ進ミ東西ニ走ル南部砂
丘列上フラトウリイン・オホ第IX 71號主要國境標識ヨリ二・四ノ十ニ在ル第IX 72號國境標識
ニ至ル

國境線第IX 72號國境標識ヨリ約四〇〇米ノ間砂丘地帯ヲ次テ傾斜緩キ草原ヲ進ミ
三・〇ノ十ニシテ小凹陷地ノ南側砂丘上ニ在ル第IX 73號國境標識ヲ經テ更ニ平坦ナル草原
ヲ進ミ三・二ノ十ニシテ雨裂ノ南端ニ位スル第IX 74號國境標識ニ至ル

國境線第IX 74號國境標識ヨリ細流ヲ有シ高サニ米及テ草本ノ生育セル幅約二〇〇
米ノ濕地ヲ通過シ緩斜面ヲ上リテ進ムコト一・七ノ十ニシテ一小丘ノ南東方ニ五〇米ノ斜
面上第IX 74號國境標識ヨリ二・三ノ十ニ在ル第IX 75號國境標識ニ至ル

國境線第IX 75號國境標識ヨリ南ニ走ル一小山脈ヲ東側麓ノ波狀草原ヲ進ミ六〇〇米東
ニシテ第IX 76號國境標識ヲ次テ一・六ノ十ニシテ第IX 77號國境標識ヲ經テ更ニ之ヨリ一・七ノ
十ニシテ右山脈中ノ一高地ノ東方凸稜上ニ位スル第IX 78號國境標識ニ至ル

國境線第IX 78號國境標識ヨリ同高地ノ南東側斜面ヲ進ムコト約七〇〇米ニシテ同高
地ノ山級ノ東側斜面ヲ下リ谷地ヲ横斷シテ進ミ第IX 78號國境標識ヨリ二・九ノ十ニシテエリス・
ウルイン・オホ第X 79號主要國境標識ニ至ル同國境標識ハ比高約二〇〇米ノ小丘上ニ在リ

十、國境線第X 79號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ東南東ニ向ヒ第X 80號
號乃至第X 82號中間國境標識ヲ經テオンドル第XI 83號主要國境標識ニ至ル

本地區ニ於テ國境線ハエリス・ウルイン・オホ第X 79號主要國境標識ヨリ七〇〇米ニシテ南
路南北ニ走ル二米道ヲ横切り更ニ平坦ナル草原ヲ進ムコト七〇〇米ニシテ第X 80號國境
標識ニ至リ更ニ之ヨリ緩斜面ヲ下ルコト七〇〇米ニシテ二ノ十ノ小凹陷地ヲ有スル砂丘
群中ノ一砂丘上ニ在ル第X 81號國境標識ニ至ル

第X 80號及第X 81號國境標識間ノ距離ヲ得ル爲メ第IX 81號國境標識ヨリ國境線止二〇〇
米ノ間ニ於テ幅三米深サ約三米ノ溝ヲ二個所ニ掘開セリ

國境線第X 81號國境標識ヨリ三〇〇米ノ間斜面ヲ下リ野地坊主ヲ有スル幅約三〇〇
米ノ深キ濕地ヲナス平底谷ヲ横斷シ更ニ段丘ヲ三〇〇米進ムタル後急峻ナル斜面ヲ上
リテ進ムコト一・〇ノ十ニシテ第X 81號國境標識ヨリ二・六ノ十ニ在ル第X 82號國境標識ニ至

ル

國境線ハ第X 83號國境標識ヨリ急峻ナル高地ノ北側斜面ヲ進ムコト約六〇〇米ニシ
 テオンドル第XI 83號主要國境標識ニ至ル同國境標識ハオンドル高地ノ山頂ニ在リ
 七、國境線ハオンドル第XI 83號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ東南東ニ向ヒ第XI 84號乃至第
 XI 95號中間國境標識ヲ經テハラト・ウライン・オボ第XII 96號主要國境標識ニ至ル
 本地區ニ於テ國境線ハオンドル第XI 83號主要國境標識ヨリオンドル高地ノ東方ニ進ル
 山脊ニ略並行シ其ノ南側斜面ヲ進ムコト一・二杆ニシテ同斜面上ニ在ル第XI 84號國境標
 識ニ至リ次テ略東西ニ走ル谷ノ頭部ヲ横斷シテ進ムコト一・二杆ニシテ南北ニ走ル山脊
 ノ鞍部ノ北北東ニ在ル第XI 85號國境標識ニ至リ更ニ之ヨリ小谷地及南東方ニ走ル支脊
 ノ南側斜面ヲ進ムコト八〇〇米ニシテ同支脊上ニ在ル第XI 86號國境標識ニ至ル
 國境線ハ第XI 86號國境標識ヨリ同支脊ノ北側斜面ヲ下リ草木ノ密生セル幅約二二〇米
 ノ谷底ヲ過リ次テ東南東ニ走ル小支脊ニ沿ヒ進ミ斜面ヲ上リ支脊上第XI 86號國境標識
 ヨリ一・九杆ニ在ル第XI 87號國境標識ニ至リ更ニ高地ノ斜面ヲ通過スルコト四〇〇米ニ
 シテ略南北ニ走ル主ナル山脊ノ鞍部ノ北東方稜線上ニ在ル第XI 88號國境標識ニ至ル
 國境線ハ第XI 88號國境標識ヨリ其ノ北東方高地ニ進ル支脊ニ沿ヒ進ムコト四〇〇米ニ
 シテ第XI 89號國境標識ニ次テ四〇〇米ニシテ第XI 90號國境標識ニ至リ更ニ同支脊ヲ下
 リ六〇〇米ニシテ小谷ニ入り進ムコト七〇〇米ニシテ第XI 91號國境標識ニ至ル同國境
 標識ハ南北ニ走ル幅約三〇〇米ノ平底谷ニ在リ
 國境線ハ第XI 91號國境標識ヨリ同谷地ヲ過リ一小支脊ノ南端及一小谷ヲ通過シ急峻ナ
 ル斜面ヲ三〇〇米上リ進ミテ第XI 92號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第XI 91號國境標識
 ヨリ一・〇杆ニ在リ
 國境線ハ第XI 92號國境標識ヨリ斜面ヲ下リ谷底ニ進ミタル後對向斜面ヲ上リ南北ニ走
 ル山脊ニ出テ第XI 93號國境標識ニ至ル同國境標識ハ第XI 92號國境標識ヨリ一・〇杆ニシ
 テ鞍部ノ南側ニ在リ
 國境線ハ第XI 93號國境標識ヨリ同國境標識ノ南東三〇〇米ノ高地ヨリ東方ニ分派スル
 支脊ヲ下リ一・三杆ニシテ小谷ニ入り同小谷ノ北側ヲ進ミ五〇〇米ニシテ第XI 94號國
 境標識ニ至ル同國境標識ハ小稜線ノ突端ニ在リ
 國境線ハ第XI 94號國境標識ヨリ稜線ヲ上リ六〇〇米ニシテ同稜線ノ主脊上ニ在ル第XI 95
 號國境標識ニ至リ次テ一・八杆ノ間同山脊東側斜面ヲ下リ三イ谷底ヲ過リ更ニハラト・ウ
 ライン・オボ高地ノ西側斜面ヲ上リハラト・ウライン・オボ第XII 96號主要國境標識ニ至ル同
 主要國境標識ハハラト・ウライン・オボ高地ノ山頂ニ在リ
 八、國境線ハハラト・ウライン・オボ第XII 96號主要國境標識ヨリ概テ南南西ノ方向ニ折線ヲ以テ
 第XII 97號乃至第XII 100號中間國境標識ヲ經テウルズル第XIII 101號主要國境標識ニ至ル
 本地區ニ於テ國境線ハハラト・ウライン・オボ第XII 96號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ南
 西方ニ向ヒ三ノ谷ヲ横斷シテ進ムコト一・五杆ニシテ南東ニ走ル稜線上ニ在ル第XII 97號
 國境標識ニ至ル

國境線ハ第XII 97號國境標識ヨリ直線ヲナシテ南南西ニ轉シ同稜線ノ南側斜面ヲ下リ谷ニ入り進ムコトニシテ同谷ヲ西側斜面ニ在ル第XII 98號國境標識ニ至ル
國境線ハ第XII 98號國境標識ヨリ直線ヲナシテ南西方ニ轉シ谷底ヲ略縦斷シテ進ムコトニシテ三軒ニシテ同谷東側草原ニ在ル第XII 99號國境標識ニ至ル
國境線ハ第XII 99號國境標識ヨリ直線ヲナシテ南南西ニ轉シ平坦ナル草原ヲ七〇〇米進ミテ東西ニ走ル比高約二五米ノ砂丘列ノ西端ニ在ル第XII 100號國境標識ニ至ル
國境線ハ第XII 100號國境標識ヨリ直線ヲナシテ同方向ニ草原ヲ横斷スルコトニシテ四軒ニシテ柳樹繁茂セルハルハ河ノ舊河床ヲ渡リ更ニ草原ヲ進ムコトニシテ六〇〇米ニシテウルズト

ル第XIII 101號主要國境標識ニ至ル同國境標識ハ國境線上ハルハ河岸ヨリ二五〇米ニ在リ同ウルズト第XIII 101號主要國境標識ヨリ國境線ハ陸地ヨリ河川ニ移ル
國境線ハウルズト第XIII 101號主要國境標識ヨリハルハ河本流ノ中央ニ順ヒ第XIII 102號乃至第XIII 108號中間國境標識ヲ通過シ第XIII 109號及第XIII 110號中間國境標識間ニ於テネメルゲン河本流ニ入り同本流ノ中央ニ順ヒ廻リ第XIII 110號乃至第XIII 115號中間國境標識ヲ經テ第XIII 116號中間國境標識ニ於テフチール河ニ入り更ニ第XIII 117號乃至第XIII 119號中間國境標識ヲ經テベリチル第XIV 120號主要國境標識ニ至リ此處ニ於テ河川ヨリ陸地ニ移行ス

本地區ニ於テハルハ河ハ幅二〇乃至五〇米深サ平均一五米河底砂ニシテ複雜ナル曲流ヲナシ處々中洲又ハ河跡湖ヲ形成シ兩岸ニハ大サ經三〇棟ニ及ブ柳樹ノ密生セル處多シネメルゲン河ハ幅三〇乃至三〇米深サ平均一五米河底砂又ハ砂ニシテ特ニ著シキ曲流ヲナシ兩岸ヨリ柳樹アル處多シ
フチール河ハ幅約一米深サ約四〇棟ニシテ兩岸ニハ高サ二米ニ及ブ草本ノ繁茂セル濕地アリ
ハルハ河ニ於ケル國境線ハウルズト第XIII 101號主要國境標識ヨリ略東方ニ向ヒハルハ河ノ曲流ニ順ヒ四六軒廻リハンダガイ河ノ河口ニ在ル第XIII 102號國境標識ニ至リ更ニ略南東方ニ向ヒ四五軒廻リ第XIII 103號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第四十七號及第四十八號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス

國境線ハ第XIII 103號國境標識ヨリ略南東方ニ向ヒ四五軒廻リ第XIII 104號國境標識ニ至リ更ニ同方向ニ進ムコトニシテ第XIII 105號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第四十九號及第五十號島嶼ハ滿洲帝國ニ歸屬ス
國境線ハ第XIII 105號國境標識ヨリ略南方ニ向ヒ六〇米廻リ第XIII 106號國境標識ニ次テ略南東方ニシテ第XIII 107號國境標識ニ更ニ同方向ニ約八軒ニシテ第XIII 108號國境標識ニ更ニ又略東方ニ六軒ニシテ第XIII 109號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第五十三號第五十五號第五十六號第五十八號及第五十九號島嶼ハ滿洲帝國ニ第五十三號及第五十四號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス

國境線ハ第XIII 109號國境標識ヨリハルハ河ヲ廻リ約二二〇米ニシテネメルゲン河口ニ至リ之ヨリ同河ニ入り
ネメルゲン河ニ於ケル國境線ハネメルゲン河口ヨリ略南方ニ共ハ曲流ニ順ヒ廻リコト

ニシテ同河ニ入り

七〇〇米ニシテ第XIII 110 號國境標識ニ至リ更ニ四九九米ニシテ第XIII 111 號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第五十七號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス
國境線ハ第XIII 111 號國境標識ヨリ略南東方ニ向ヒ此ノ間山流ニ順ヒ三〇五米ヲ廻リ兩側ヨリ斷崖ヲ有スル山ノ最モ迫レル地點ヲ通過シ第XIII 112 號國境標識ニ至リ更ニ之ヨリ略東南東ニ轉ジ二六九米ニシテ第XIII 113 號國境標識ニ至ル此ノ間ニ於ケル第六十號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス
國境線ハ第XIII 113 號國境標識ヨリ最モ錯雜セル山流ニ順ヒ略南方ニ向ヒ五三九米ニシテ第XIII 114 號國境標識ニ次テ同方向ニ四九九米ニシテ第XIII 116 號國境標識ニ更ニ略南東方三二九米ニシテフチール河口ニ在ル第XIII 116 號國境標識ニ至リ之ヨリフチール河ニ入ル此ノ間ニ於ケル第六十一號島嶼ハ蒙古人民共和國ニ歸屬ス
國境線ハ第XIII 116 號國境標識ヨリフチール河ノ複雜セル小山流ニ順ヒ廻リ略東方ニ進ミ四八八米ニシテ第XIII 117 號國境標識ニ次テ略南東方四八八米ニシテ第XIII 118 號國境標識ニ更ニ同方向四〇九米ニシテ第XIII 119 號國境標識ニ至リ更ニ又之ヨリ同方向三〇九米ニシテペリチル第XIV 120 號主要國境標識ニ至リ此處ニ於テ河川ヨリ陸地ニ移行ス
同主要國境標識ノ地上界標ハフチール河ヨリ二八五米ノ距離ニ其ノ對岸標柱ハ陸地國境線ノ延長上フチール河ヨリ七〇米ノ距離ニ設置セラレク
山、國境線ハペリチル第XIV 120 號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ南南東ニ向ヒ第XIV 121 號及第XIV 122 號中間國境標識ヲ經テハツタ・オーラ第XV 123 號主要國境標識ニ至ル

本地區ニ於テ國境線ハペリチル第XIV 120 號主要國境標識ヨリ高地ノ北東側斜面ヲ上ルコト五〇〇米ニシテ同高地ノ稜線上ニアル第XIV 121 號國境標識ニ至リ之ヨリ斜面ヲ下リ草本ノ密生セル濕地ヲ有スル幅約七〇米ノ谷ヲ過リ再ビハツタ・オーラ高地ノ北側斜面ヲ上リ第XIV 121 號國境標識ヨリ三三九米ノ傾斜變換點ニ在ル第XIV 122 號國境標識ニ至リ更ニ之ヨリ一〇〇〇米進ミハツタ・オーラ第XV 123 號主要國境標識ニ至ル同主要國境標識ハハツタ・オーラ高地ノ山嶺ニ屹立セル大岩石ノ北側ニ在リ
十五國境線ハハツタ・オーラ第XV 123 號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ南東方ニ向ヒ第XV 124 號及第XV 125 號中間國境標識ヲ經テノゴツタ・オーラ第XVI 126 號主要國境標識ニ至ル
本地區ニ於テ國境線ハハツタ・オーラ第XV 123 號主要國境標識ヨリハツタ・オーラ高地ノ斜面ヲ下リ二ノ小谷ヲ横斷シ更ニ高地斜面ヲ上リテ第XV 123 號主要國境標識ヨリ一四九米ノ小稜線上第XV 124 號國境標識ニ至ル
國境線ハ第XV 124 號國境標識ヨリ南側斜面ヲ下リ幅約八〇米ノ谷ヲ通過シ更ニ其ノ對向斜面ヲ上リ略東西ニ走ル山脊上第XV 124 號國境標識ヨリ一七九米ニ在ル第XV 125 號國境標識ニ至ル
國境線ハ第XV 125 號國境標識ヨリ山脊南側斜面ヲ谷ニ下リ更ニノゴツタ・オーラ高地ノ北側斜面ヲ上リノゴツタ・オーラ第XVI 126 號主要國境標識ニ至ル同主要國境標識以テ第XV 125 號國境標識ヨリ一九九米ノゴツタ・オーラ高地ノ平坦ナル頂上ノ中央ニ在リ
大、國境線ハノゴツタ・オーラ第XVI 126 號主要國境標識ヨリ直線ヲナシテ南南東ニ向ヒ第XVI 127 號

主乃至第 XVI 131 號中間國境標識ヲ經テアマラルテインオーラ第 XVI 132 號主要國境標識ニ至ル
 本地區ニ於テ國境線ノゴツタオーラ第 XVI 126 號主要國境標識ヨリ略ノゴツタオーラ高
 地ノ南ニ連ル山脊ノ東側山腹ヲ進ミ第 XVI 126 號國境標識ヨリ一・三杆ニ在ル第 XVI 127 號國境
 標識ニ至ル此之間ノゴツタオーラ高地ノ主要國境標識ヨリ六・三米ノ距離ニ在ル同高地
 ノ傾斜變換點ニ於テ徑一・二米高サ一・三米ニ石礫ヲ積ミ之ヲコンクリートニテ補強セル補
 助標識ヲ通過ス
 國境線ハ第 XVI 127 號國境標識ヨリ南ニ走ル支脊ニ略並行シ斜面ヲ過下シ細流及濕地ヲ有
 スル谷地ヲ渡リ急峻ナル斜面ヲ上リ進ミ稜線上第 XVI 127 號國境標識ヨリ二・六杆ニ在ル第
 XVI 128 號國境標識ニ至ル此之間第 XVI 127 號國境標識ヨリ一・〇杆ノ地點ニ於テ前記ノ同様ノ
 形狀及幅員ヲ有スル補助標識ヲ通過ス
 國境線ハ第 XVI 128 號國境標識ヨリ斜面ヲ下リニク小尖底谷及之ト交互セル二ノ小稜線ヲ
 横斷シ南西ニ走ル山脊上第 XVI 128 號國境標識ヨリ一・三杆ニ在ル第 XVI 129 號國境標識ニ至ル
 次テ急峻ナル斜面ヲ下リ細流及濕地ヲ有スル幅約一・〇〇米ノ谷ヲ横斷シ更ニ高地脚ノ
 斜面ヲ上リ第 XVI 129 號國境標識ヨリ一・〇杆ニ在ル第 XVI 130 號國境標識ニ至ル
 國境線ハ第 XVI 130 號國境標識ヨリ斜面ヲ下リ幅約七・〇米ノ谷ヲ斜斷シ谷ノ後斜面ヲ上リ
 第 XVI 130 號國境標識ヨリ一・二杆ニ在ル略北西ニ走ル稜線上ニ在ル第 XVI 131 號國境標識ニ至
 リ更ニ約三・〇〇米ニ在ル略稜線ニ並行シアマラルテインオーラ第 XVI 132 號主要國境標識
 ニ至ル同主要國境標識ハアマラルテインオーラ高地ノ尖頂上ニ在リ

本國境標識明細書ハ日本文及露西亞文ヲ以テ各二通計四通作成セラレタリ
 康德八年十月十五日即チ蒙古人民共和國三十一年十月十五日哈爾濱市ニ於テ

滿洲帝國全權委員 下村信禎
 博彦滿都

蒙古人民共和國全權委員 ドミルノフ
 スミルノフ

康徳六年(千九百三十九年)紛争アリタル地域ニ於ケル滿洲帝國及蒙古人民共和國間現地國境確定退成委員會ノ作業ニ關スル綜合議定書附屬第五號

國境標識明細書

一、地上界標ノ標石ハ花崗岩ヲ以テ上部ヲ底邊三〇センチメートル高サ五センチメートルノ方錐型、中部ヲ上邊三〇センチメートル底邊三〇センチメートル高サ四〇センチメートルノ方錐頭方錐型、下部ヲ上邊三〇センチメートルノ立方型ニ刻成シ上部及中部ニ掘出シ上ニ
標石ノ中部ニ於テ滿洲帝國領域ニ向テ面ニ「滿洲帝國」之ニ而シテ其ノ右側面ニ「蒙古人民共和國」之ニ而シテ其ノ右側面ニ「蒙古人民共和國三十年」及「界標第...」號ニヲ刻記セリ右題銘ハ夫々自國語ヲ以テシ界標番號ハローマ數字ヲ以テセリ
地上界標ノ基礎ハセメントニ砂ニ小石四ノ割合ニ依テコンクリートヲ以テ三段ニ築造シ
二、其ノ下段部ハ底面方一〇センチメートル高サ六四〇センチメートルトシ一〇センチメートルトシ
三、其ノ下段部ハ底面方七〇センチメートル高サ四〇センチメートルトシ
四、其ノ下段部ハ底面方七〇センチメートル高サ四〇センチメートルトシ

二地中界標ノ盤石ハ花崗岩ヲ以テ方二八センチメートル厚九センチメートル刻成シ上面ヲ小坂トシ中央ニ十字ヲ刻スセリ

三標柱ハ長サ三〇センチメートルトルノ乾燥セル松丸太ヲ用ヒ其ノ地上部三〇六センチメートル方ニ三センチメートルトルノ角材トナシ其ノ上端部ヲ三〇センチメートルトルノ方錐型トセリ地下部ニハ二枚ノ平板ヲ十字型ニ嵌着セリ但シ湿地ニ於テハ底面ニ木製十字架ヲ附シ支材ヲ以テ之ヲ結合セリ

標柱ノ塗色及標記ハペンキヲ以テシ滿洲帝國領域ニ植立セル標柱ハ白色ニ蒙古人民共和國領域ニ植立セル標柱ハ赤色帯(幅二五センチメートル)及青色帯(幅二三センチメートル)ヲ交互ニ螺旋型ニ塗リ標柱ノ國境線ニ面スル側ニハ上端ヨリ五〇センチメートルノ部分ニ黑色ヲ以テ二〇センチメートルトルノ角材ヲ描キ之ニ番號ヲ記入セリ而シテ滿洲帝國領域ニ於ケル標柱ニハ角材ノ上部ニ國旗ヲ描キ其ノ下部ニ「滿洲帝國」ト縦書シ蒙古人民共和國領域ニ於ケルモノニハ角材ノ上部ニ青銅ニテ鑄造セル國章ヲ附セリ

標柱ノ植立ニ當リテハ其ノ下ニ五個ノ小石及ガラスノ破片ヲ置キ又標柱ノ周邊ハ高サ一〇乃至二〇センチメートルトル半徑一〇〇センチメートルノ土堆ヲ築キ其ノ表面ハ小石又ハ芝生ヲ以テ被覆セリ

四國境標識ノ明細圖ハ附圖第五及第二ニ之ヲ示セリ

本國境線通過記録ハ日本文及露西亞文ヲ以テ各二通計四通作成セラレタリ

康德八年十月十五日即チ蒙古人民共和國三十一年十月十五日哈爾濱市ニ於テ

滿洲帝國全權委員 下村信貞
博彦 滿都

蒙古人民共和國全權委員 ドルチ
スミルノフ

康徳六年(千九百三十九年)紛争アリタル地域ニ於テ
於ケル滿洲帝國及蒙古人民共和國間現地國境確定
混成委員會ノ作業ニ關スル綜合議定書附屬第六號

國境標識ノ保全ニ關スル規程

滿洲帝國全權委員及蒙古人民共和國全權委員ハ康徳八年(千九百四十一年)八月十五日確定ヲ
終リタル滿洲帝國及蒙古人民共和國間國境ニ於ケル國境標識ノ保全ニ關スル規程ヲ左ノ通
取極メタリ

滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ雙方ハ國境標識ヲ正常状態ニ維持シ國境標識ガ損傷又ハ壞滅
セル場合ニハ之ヲ通滯ナク補修又ハ再建スベキモノトス
地上及地中界標ノ補修及再建ハポイル湖北岸ホイトエリグ第一ノ號主要國境標識ヨリフラ
トウリイン・オボ第IXノ號主要國境標識之ヲ含ムニ至ル國境地區ニ於テハ蒙古人民共和國之
ニ任ジフラトウリイン・オボ第IXノ號主要國境標識之ヲ含ムゾヨリ確定セラレタル國境ノ端
末點アマラルテイン・オーラ第XVIIノ號主要國境標識之ヲ含ムニ至ル國境地區ニ於テハ滿洲帝
國之ニ任ズ

標柱ノ補修及再建ハ其ノ存在スル側ノ國家之ニ任ズ

滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ雙方ハ國境標識ノ保全ニ關スル總テノ作業ノ實施ニ當リ不測
ノ紛議ヲ避ケル爲メ作業日時補修又ハ再建セラルベキ國境標識ノ番號及作業ニ參加スル人數
共ノ他ニ關シテ少ク下ニ作業開始十五日前ニ相互ニ通報スルモノトス
前記補修又ハ再建ニ當リ國境標識ノ様式及位置ハ康德八年(千九百四十一年)十月十五日附滿
洲帝國及蒙古人民共和國間現地國境確定混成委員會ノ作業ニ關スル綜合議定書附屬當該國
境標識ニ關スル議定書ト完全ニ一致スルコトヲ要ス

四

國境標識ノ様式及位置ニ何等カノ變更ヲ加フル必要アル場合ニハ兩國政府ノ協議ニ依リ決
定セラルルモノトス
滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ一方ガ國境標識ノ補修又ハ再建ノ爲メ其ノ作業班ヲ越境セシム
ル必要アル場合ニハ之ヲ少ク下ニ三日日前ニ他方ニ通報シ右他方ハ作業遂行ニ必要ナル限
リニ於テ越境ヲ許可スルモノトス

六

滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ一方ガ國境標識ノ再建ヲ爲スニ當リテハ他方ハ必要ニ應ジ點

檢調整ヲ實施シ得ルモノトス

七

滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ一方ガ他方ニ於テ保全ニ任ズル國境標識ノ補修又ハ再建ノ必
要ヲ認メタル場合ニハ之ヲ右他方ニ通報スルモノトス

八

滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ雙方ハ國境線ヨリ幅五十メートルノ地帯ノ自國領域ニ於テハ
新ニ如何ナル人爲的施設ヲモ爲サズ且國境標識ヲ除キ右地帯ニ現存スル一切ノ施設ヲ遲滯
ナク撤去スルモノトス
前記地帯ニ於ケル居住及放牧ハ之ヲ禁止ス

滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ雙方ハ前項ニ示サレタル國境地帯ニ於ケル國境標識ノ通視ヲ
妨ゲル森林及灌木林ヲ必要ニ應ジ單獨ニテ除去スルモノトス

十

滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ雙方ハ本規程第三項ニ示サレタル分擔作業ノ費用ヲ各別ニ負
擔ス

十二

國境標識ガ故意又ハ過失ニ因リ損傷又ハ毀滅セル場合ニハ右國境標識ノ補修及再建ニ要ス

ル費用ハ損益ヲ加ヘタル側ニシテ負擔スル事ニシテ、計開ニシテ、前記ノ如ク、

十三
滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ雙方ハ國境地帯ノ自國民ニ對シ國境標識ヲ毀損シ又ハ其ノ位
置ヲ變更スル行爲ヲ嚴禁スル旨佈告スル事ヲトス

本規程ハ日本文及露西文ヲ以テ各三通計四通作成セラレタリ
前記ノ如ク、滿洲帝國及蒙古人民共和國ノ雙方ハ國境地帯ノ自國民ニ對シ國境標識ヲ毀損シ又ハ其ノ位
置ヲ變更スル行爲ヲ嚴禁スル旨佈告スル事ヲトス
康德八年十月十五日即チ蒙古人民共和國三十一年十月十五日哈爾濱市ニ於テ

滿洲帝國全權委員 下村 信 禎
蒙古人民共和國全權委員 博 彦 滿 都

滿洲帝國全權委員 下村 信 禎
蒙古人民共和國全權委員 博 彦 滿 都

蒙古人民共和國全權委員

ド
スミルノフ
① ②

極秘

ИТОГОВЫЙ ПРОТОКОЛ
О РАБОТЕ СМЕШАННОЙ КОМИССИИ ПО УТОЧНЕ-
НИЮ ГОСУДАРСТВЕННОЙ ГРАНИЦЫ НА МЕСТНОСТИ
МЕЖДУ МОНГОЛЬСКОЙ НАРОДНОЙ РЕСПУБЛИКОЙ
и МАНЧЖОУ-ДИ-ГО В РАЙОНЕ КОНФЛИКТА 1939 года
(6 года Кандэ)

С ПРИЛОЖЕНИЯМИ

滿洲帝國外務局
作成 年月 日 作成
作成部 課 長 印
二重 蓋 印
印 文 部

REEL No. A-0493

0245

アジア歴史資料センター

ИТОГОВЫЙ ПРОТОКОЛ
О РАБОТЕ СМЕШАННОЙ КОМИССИИ ПО УТОЧНЕ-
НИЮ ГОСУДАРСТВЕННОЙ ГРАНИЦЫ НА МЕСТНОСТИ
МЕЖДУ МОНГОЛЬСКОЙ НАРОДНОЙ РЕСПУБЛИКОЙ
и МАНЧЖОУ-ДИ-ГО В РАЙОНЕ КОНФЛИКТА 1939 года
(6 года Кандэ)

Уполномоченные Монгольской Народной Республики ДОРЖИ БАТО и
СМИРНОВ ДМИТРИЙ ИВАНОВИЧ, с одной стороны, и Уполномоченные Манчжоу-
Ди-Го СИМОМУРА НОБУСАДА и БУИЦМАНТО, с другой стороны, на основа-
нии Соглашений МОЛОТОВ—ТОГО от 9 июня 1940 года и ЛОЗОВСКИЙ—ТОГО
от 18 июля 1940 года и в соответствии с протоколами заседаний Смешанной Комис-
сии по уточнению государственной границы на местности между Монгольской На-
родной Республикой и Манчжоу-Ди-Го от 14 июня 1941 года, на протяжении 1940
и 1941 годов произвели уточнение государственной границы на местности между
Монгольской Народной Республикой и Манчжоу-Ди-Го в районе конфликта 1939 го-
да и навечно обозначили государственную границу.

1. Уточненная линия государственной границы проходит на местности так, как
указано на карте и в описании прохождения линии государственной границы, при-
ложенных к настоящему протоколу, и разграничивает также по вертикальным напра-
влениям воздушное пространство и недра земли.

Линия государственной границы на суше проходит через центры пограничных
знаков, обозначенные на подземных центральных знаках крестом, а по рекам (ру-

чьям) по середине их главного русла.

Хотя в будущем в положении вышеуказанного русла главного течения будут естественные изменения, однако, линия государственной границы не перемещается.

Ее местоположение и конфигурация остаются такими, какими они были при уточнении в 1941 году, и не могут быть изменены иначе как с согласия Правительств обоих государств.

2. Уточненная от главного пограничного знака № I/1 Хойт эриг, что на северном берегу озера Буир нур, до главного пограничного знака № XVII/132 Амаралтин-ула государственная граница имеет общее протяжение 256.79 километра, в том числе на сухопутных участках протяжение границы составляет 153.52 километра, а на водных участках составляет 103.27 километра.

3. Для проведения технических работ по обозначению линии государственной границы, граница была разделена на два участка:

Первый участок протяжением 127.85 километра проходит от главного пограничного знака № I/1 Хойт эриг, что на северном берегу озера Буир нур, до главного пограничного знака № IX/71 Хулат улийн обо (включительно). Работы на данном участке были выполнены Стороной Монгольской Народной Республики, Сторона Манчжоу-Ди-Го осуществляла контроль данных работ.

Второй участок протяжением 128.94 километра проходит от главного пограничного знака № IX/71 Хулат улийн обо (исключительно) до главного пограничного знака № XVII/132 Амаралтин ула. Работы на данном участке были выполнены Стороной Манчжоу-Ди-Го, Сторона Монгольской Народной Республики осуществляла

контроль данных работ.

4. При проведении топогеодезических работ на государственной границе за начальный пункт принят центр главного пограничного знака № IX/71 Хулат улийн обо.

Географические координаты и азимут на этом начальном пункте получены из астрономических наблюдений и равны: широта $47^{\circ}39'55''.63$, долгота $119^{\circ}7'4''.59$. Азимут на центр главного пограничного знака № X/79 Эрис улийн обо равен $173^{\circ}33'43''.5$.

Прямоугольные координаты начального пункта условно приняты: X (направление меридиана) = 0, Y = 0, и измерения на поверхности земли приняты за измерения на плоскости.

Высота над уровнем моря вершины надземного центрального знака, служащего начальным пунктом, условно принята равной 1000 метрам.

5. Пограничные знаки делятся на два вида — на главные и промежуточные. На конечных и главных поворотных пунктах уточненной линии государственной границы установлены главные пограничные знаки, а на промежуточных пунктах между ними — промежуточные пограничные знаки.

а) Главные пограничные знаки состоят из надземного центрального знака, подземного центрального знака и пограничных столбов.

Надземный центральный знак представляет собой каменный знак, установленный на бетонном основании. Подземный центральный знак представляет собой каменную плиту, зарытую в землю под надземным центральным знаком на глубину 1.5 метра.

Пограничные столбы представляют собой парные деревянные столбы, установленные по обе стороны надземного центрального знака, как правило, на расстоянии

нии 2,5 метров от линии государственной границы.

При главных пограничных знаках, в пунктах перехода линии государственной границы с суши на воду или с воды на сушу, установлен еще один пограничный столб на противоположном берегу реки (ручья) в створе сухопутной линии государственной границы.

б) Промежуточные пограничные знаки на суше состоят из подземного центрального знака и пограничных столбов.

Подземный центральный знак представляет собой каменную плиту, зарытую в землю на глубину 1,5 метра. Пограничные столбы представляют собой парные деревянные столбы, установленные по обе стороны от подземного центрального знака на расстоянии 2,5 метров от линии государственной границы. В тех случаях, когда линия государственной границы проходит по реке (ручью), промежуточные пограничные знаки состоят из парных пограничных столбов, установленных на обоих берегах данной реки (ручья).

6. Пограничным знакам присвоена нумерация, обозначенная в виде дробных чисел, от I/1 до XVII/132, и указана на пограничных столбах.

Арабские цифры (знаменатель) идут по порядку на главных и промежуточных пограничных знаках, начиная с главного пограничного знака Хойт эриг, что на северном берегу озера Буир нур. Римские цифры (числитель) на главных пограничных знаках соответствуют номерам надземных пограничных знаков, имеющих свою порядковую нумерацию, начинающуюся с главного пограничного знака Хойт эриг, а на промежуточных пограничных знаках римскими цифрами указан младший из номеров

надземных центральных знаков, между которыми эти промежуточные знаки расположены.

7. Пограничные знаки на сухопутных участках государственной границы установлены в пределах взаимной видимости и, как правило, на расстоянии не свыше двух километров один от другого, а на водных участках — на расстоянии до четырех километров один от другого.

8. Названия поворотных пунктов, обозначенных главными пограничными знаками, и местных предметов приняты в соответствии с картой, приложенной к Соглашению МОЛОТОВ—ТОГО.

Пунктам поворота, конечным пунктам и некоторым местным предметам, не имеющим названий на вышеуказанной карте, присвоены названия, согласно протокола заседания Смешанной Комиссии по уточнению государственной границы на местности между Монгольской Народной Республикой и Манчжоу-Ди-Го от 10 августа 1941 года.

9. В качестве приложений к настоящему протоколу составлены нижеследующие документы:

1) Описание прохождения линии государственной границы в четырех экземплярах, из которых 2 на русском и 2 на японском языках.

2) Альбом карт государственной границы в четырех экземплярах.

В нем находятся:

а) схема расположения листов карты государственной границы, в каждом экземпляре два листа;

б) карты государственной границы масштаба 1 : 25 000, в каждом экземпляре 21 лист.

3) Альбом схем геодезической сети и геодезических данных в четырех экземплярах.

В нем находятся:

а) схема расположения по листам геодезической сети, в каждом экземпляре два листа;

б) схемы геодезической сети масштаба 1 : 25 000, в каждом экземпляре 21 лист;

в) таблицы геодезических данных, в каждом экземпляре 19 листов.

4) Протоколы на пограничные знаки в четырех экземплярах, из которых 2 на русском и 2 на японском языках, в каждом экземпляре 132 листа.

5) Описание пограничных знаков с чертежами в четырех экземплярах, из которых 2 на русском и 2 на японском языках.

б) Положение о поддержании в сохранности пограничных знаков в четырех экземплярах, из которых 2 на русском и 2 на японском языках.

Уполномоченные обоих государств составили настоящий протокол в четырех экземплярах, из которых 2 на русском и 2 на японском языках, и после подписания и скрепления печатями протоколов и вышеуказанных приложенных документов обменялись ими в двух экземплярах.

Каждый из вышеуказанных документов как на русском, так и на японском языках, является оригиналом и имеет одинаковую силу.

Настоящий протокол и приложенные документы подлежат в наикратчайший срок официальному утверждению Правительствами Монгольской Народной Республики и Манчжоу-Ди-Го.

г. Харбин.

„ 15 “ октября 31 года Монгольской Народной Республики, что соответствует

„ 15 “ октября 8 года Кандэ.

УПОЛНОМОЧЕННЫЕ
МОНГОЛЬСКОЙ НАРОДНОЙ
РЕСПУБЛИКИ

М. П. СМИРНОВ

М. П. ДОРЖИ

УПОЛНОМОЧЕННЫЕ
МАНЧЖОУ-ДИ-ГО

下 博
村 彦
信 満
禎 都
印 印

ПРИЛОЖЕНИЕ № 1
к итоговому протоколу о работе Смешанной Комиссии по уточнению государственной границы на местности между Монгольской Народной Республикой и Манчжоу-Ди-Го в районе конфликта 1939 года (6 года Кандэ).

О П И С А Н И Е ПРОХОЖДЕНИЯ ЛИНИИ ГОСУДАРСТВЕННОЙ ГРАНИЦЫ

Уточненная к 15 августа 1941 года (8 года Кандэ) линия государственной границы между Монгольской Народной Республикой и Манчжоу-Ди-Го проходит на местности согласно нижеследующего описания:

№ участ-ков	Участки между главными погранич-ными знаками	Направление линии госу-дарственной границы	Протяжен-ность грани-цы в км
1	№ I/1 Хойт эриг — № II/4 Мухор обо	Северо-восточное	6.08
2	№ II/4 Мухор обо — № III/14 Бухын тологой	Востоко-северо-восточ-ное	17.56
3	№ III/14 Бухын тологой — № IV/18 Бандо	Востоко-северо-восточ-ное	7.18
4	№ IV/18 Бандо — № V/19 Эриг ус	Юго-восточное	1.78
5	№ V/19 Эриг ус — № VI/27 Зегис	Востоко-юго-восточное	28.67
6	№ VI/27 Зегис — № VII/33 Силинь худук	Восточное	8.15

7	№ VII/33 Силинь худук — № VIII/52 Номун Хан Бурд обо	Юго-юго-восточное	28.49
8	№ VIII/52 Номун Хан Бурд обо — № IX/71 Хулат улийн обо	Востоко-юго-восточное	29.94
9	№ IX/71 Хулат улийн обо — № X/79 Эрис улийн обо	Южное	13.69
10	№ X/79 Эрис улийн обо — № XI/83 Ондр	Востоко-юго-восточное	4.32
11	№ XI/83 Ондр — № XII/96 Харат улаин обо	Востоко-юго-восточное	13.63
12	№ XII/96 Харат улаин обо — № XIII/101 Улзур	Юго-юго-западное	6.91
13	№ XIII/101 Улзур — № XIV/120 Бельчир	—	74.60
14	№ XIV/120 Бельчир — № XV/123 Хадта ула	Юго-юго-восточное	3.17
15	№ XV/123 Хадта ула — № XVI/126 Ногота ула	Юго-восточное	4.97
16	№ XVI/126 Ногота ула — № XVII/132 Амаралтин ула	Юго-юго-восточное	7.65
		ИТОГО	256.79

1. Линия государственной границы начинается от точки на линии северного берега озера Буир нур, находящейся на пересечении линии берега этого озера с продолжением по прямой государственной границы между главными пограничными знаками № III/4 Мухор обо и № I/1 Хойт эриг. От этой точки граница идет в северо-восточном направлении к главному пограничному знаку № I/1 Хойт эриг, установленному в 247 метрах по линии границы от озера Буир нур на песчаном холме.

От главного пограничного знака № I/1 Хойт эриг линия границы идет по прямой в северо-восточном направлении до главного пограничного знака № III/4 Мухор обо, через промежуточные пограничные знаки № I/2 и № I/3.

На этом участке от главного пограничного знака № I/1 Хойт эриг линия границы проходит на протяжении 1.9 километра по слегка всхолмленной степи к пограничному знаку № I/2.

От пограничного знака № I/2 линия государственной границы идет по равнине, в 100 метрах западнее безымянного озера пересекает западный край заболоченной низменности, поросшей камышом, и доходит до пограничного знака № I/3. Данный пограничный знак установлен на расстоянии 2.0 километра от пограничного знака № I/2 и в 600 метрах севернее безымянного озера.

От пограничного знака № I/3 на протяжении 2.0 километра линия границы проходит по постепенно повышающейся к северу равнинной местности к главному пограничному знаку № III/4 Мухор обо, установленному на кургане высотой примерно в 3 метра, расположенном в 65 метрах юго-юго-восточнее линии левого берега реки Уршин гол.

2. От главного пограничного знака № III/4 Мухор обо линия границы идет по прямой в востоко-северо-восточном направлении до главного пограничного знака № III/14 Бухын толгой через промежуточные пограничные знаки № II/5 — № II/13.

На этом участке в 250 метрах от главного пограничного знака № III/4 Мухор обо линия границы пересекает реку Уршин гол шириною примерно в 50 метров, а затем на протяжении 220 метров идет по поросшей камышом болотистой местности, что на правом берегу реки; далее линия границы проходит по слегка холмистой равнине, пересекая в четырех местах старое, сухое русло реки, и подходит к пограничному знаку № II/5, установленному в 2.2 километра от главного пограничного знака № III/4 Мухор обо на слегка холмистой равнине, в 75 ме-

трах к северо-востоку от места совпадения двух сухих русел реки.

В 550 метрах от пограничного знака № II/5 граница пересекает сухое, поросшее травой русло реки глубиной до 0.5 метра, в 800 метрах граница вновь пересекает такое же сухое русло реки, а в 950 метрах — яму глубиной в 0.3 метра и идет к пограничному знаку № II/6, установленному на равнинной местности в 1.9 километра от пограничного знака № II/5.

От пограничного знака № II/6 линия границы идет по степной равнине, в 450 метрах пересекает небольшую впадину и проходит далее до пограничного знака № II/7, установленного в 1.3 километра от пограничного знака № II/6. От пограничного знака № II/7 линия границы проходит по лугу, простирающемуся до реки Шарильджин гол, и далее в 800 метрах от пограничного знака № II/7 пересекает реку Шарильджин гол и идет к пограничному знаку № II/8, установленному в 1.1 километра от пограничного знака № II/7 на правом берегу реки Шарильджин гол, в 70 метрах по линии границы от берега реки.

От пограничного знака № II/8 линия границы на протяжении 400 метров проходит в общем параллельно излучине реки Шарильджин гол, примерно в 50 метрах севернее ее. На расстоянии около 1.0 километра от пограничного знака № II/8 линия границы переходит с дуга на степную равнину и идет по ней до пограничного знака № II/9, установленного в 1.7 километра от пограничного знака № II/8.

От пограничного знака № II/9 в 330 метрах линия границы пересекает сухое русло реки и идет далее по степной, слегка повышающейся к востоку местности до пограничного знака № II/10, установленного в 1.8 километра от пограничного знака № II/9.

От пограничного знака № II/10 до главного пограничного знака № III/14 Бухын толгой, установленного на кургане высотой примерно в 3 метра, линия

границы на протяжении 7.6 километра проходит через пограничные знаки № II/11, № II/12 и № II/13 по степной равнинной местности, не имеющей характерных примет.

3. От главного пограничного знака № III/14 Бухын толгой линия границы проходит по прямой в востоко-северо-восточном направлении до главного пограничного знака № IV/18 Бандо, установленного на равнинной местности в 1.7 километра по линии границы северозападнее правого берега реки Халхин гол.

На этом участке граница на протяжении 7.2 километра проходит через пограничные знаки № III/15, № III/16 и № III/17 по степной равнине.

4. От главного пограничного знака № IV/18 Бандо линия границы проходит на протяжении 1.8 километра по прямой в юго-восточном направлении до главного пограничного знака № V/19 Эриг ус, установленного на правом берегу реки Халхин гол в 33 метрах от линии берега.

На этом участке линия границы проходит сначала по степной равнине, в 1.1 километра пересекает сухое русло реки, а затем проходит по равнине с редкими кустами ивняка.

5. От главного пограничного знака № V/19 Эриг ус линия государственной границы переходит с суши на воду и идет по середине главного русла реки Халхин гол в общем восточном направлении через промежуточные пограничные знаки № V/20 — № V/25 к промежуточному пограничному знаку № V/26, где переходит с воды на сушу, и далее идет к главному пограничному знаку № V/27 Зегис.

На всем протяжении этого участка границы дно реки Халхин гол песчано-каменистое, ширина реки от 75 до 100 метров, глубина реки от 1.5 до 2 метров.

От главного пограничного знака № V/19 Эриг ус линия границы идет в юго-восточном направлении на третий пограничный столб, что на противоположном берегу, до середины главного русла реки Халхин гол. На протяжении примерно

1.5 километра от главного пограничного знака № V/19 граница идет в восточно-северо-восточном направлении, затем поворачивает на юго-юго-восток и идет в этом направлении примерно 1.2 километра, далее поворачивает на восток и идет в таком направлении около 2.0 километра до пограничного знака № V/20. На этом участке острова № 1 и № 2 принадлежат Монгольской Народной Республике, а острова № 3, № 4 и № 5 принадлежат Манчжоу-Ди-Го.

От пограничного знака № V/20 линия границы идет на протяжении 1.7 километра в восточном направлении, а затем на протяжении 1.2 километра в южном направлении; далее линия границы на протяжении 1.5 километра идет в юго-восточном направлении к пограничному знаку № V/21. На этом участке острова № 6, № 7, № 8, № 9, № 10, № 11 и № 12 принадлежат Монгольской Народной Республике.

От пограничного знака № V/21 линия границы на протяжении 5.0 километра идет в общем юго-восточном направлении к пограничному знаку № V/22. На этом участке острова № 14, № 15, № 16 и № 19 принадлежат Монгольской Народной Республике, а острова № 13, № 17, № 18 и № 20 принадлежат Манчжоу-Ди-Го.

От пограничного знака № V/22 линия границы на протяжении 1.5 километра идет в общем восточном направлении; далее на протяжении примерно 1.0 километра идет в юго-восточном направлении, затем вновь поворачивает на восток и идет на протяжении 1.5 километра к пограничному знаку № V/23. На этом участке острова № 21, № 22, № 25, № 28 и № 30 принадлежат Монгольской Народной Республике, а острова № 23, № 24, № 26, № 27 и № 29 принадлежат Манчжоу-Ди-Го.

От пограничного знака № V/23 граница идет на протяжении примерно 1.3 километра в общем восточно-северо-восточном направлении, затем поворачивает на северо-северо-восток и идет в этом направлении примерно 500 метров,

далее примерно 2.4 километра линия границы идет в общем восточном направлении до пограничного знака № V/24. На этом участке острова № 32, № 33, № 34, № 35, № 36, № 37 и № 38 принадлежат Монгольской Народной Республике, а остров № 31 принадлежит Манчжоу-Ди-Го.

От пограничного знака № V/24 линия границы на протяжении 2.8 километра идет в общем восточно-юго-восточном направлении к пограничному знаку № V/25. На этом участке остров № 42 принадлежит Монгольской Народной Республике, а острова № 39, № 40 и № 41 принадлежат Манчжоу-Ди-Го.

От пограничного знака № V/25 на протяжении 2.0 километра линия границы идет в общем юго-восточном направлении, затем поворачивает на северо-восток и далее на расстоянии 1.0 километра идет к пограничному знаку № V/26. На этом участке остров № 43 принадлежит Монгольской Народной Республике, а острова № 44, № 45 и № 46 принадлежат Манчжоу-Ди-Го.

От точки, находящейся по середине главного русла реки Халхин гол между столбами пограничного знака № V/26, граница поворачивает на точку, что на линии правого берега реки, в створе столбов пограничного знака № V/26 и в 5.9 метра от столба, установленного на территории Манчжоу-Ди-Го, и далее от этой точки в восточном направлении на протяжении 85 метров идет по прямой к главному пограничному знаку № VI/27 Зегис, установленному на правом берегу реки Халхин гол, в 42 метрах от линии берега, напротив южной оконечности острова, расположенного в 500 метрах на возвышенности правого берега реки.

6. От главного пограничного знака № VI/27 Зегис линия границы проходит по прямой линии в восточном направлении до главного пограничного знака № VII/33 Силинь худук через промежуточные пограничные знаки № VI/28 — № VI/32.

На этом участке от главного пограничного знака № VI/27 Зегис линия границы идет сначала по ровной местности, далее в 1.0 километра от пограничного

знака линия границы доходит до возвышенности на правом берегу реки; в 1,5 километра пересекает тальвег лощины, идущей в юго-юго-западном направлении к реке Халхин гол, и затем, со дна лощины линия границы идет к пограничному знаку № VI/28, установленному на расстоянии 1,7 километра от главного пограничного знака № VI/27, на пологом скате возвышенности, в 25 метрах к юго-востоку от восточного края лощины, идущей в юго-юго-западном направлении к реке Халхин гол.

От пограничного знака № VI/28 линия границы идет, поднимаясь по отлогому скату возвышенности, пересекая на расстоянии 300 метров небольшую лощину, и далее проходит до пограничного знака № VI/29, установленного на расстоянии 500 метров от пограничного знака № VI/28, на западном краю небольшой ямы, в 90 метрах от северо-западного края лощины, идущей в юго-западном направлении.

От пограничного знака № VI/29 линия границы на протяжении 900 метров проходит по пересеченной небольшими ямами и барханами местности к пограничному знаку № VI/30, установленному на песчаном бархане Элист, поросшем небольшим кустарником.

От пограничного знака № VI/30 линия границы проходит на протяжении 150 метров по песчаным барханам, а затем по равнинной местности со слабой растительностью к пограничному знаку № VI/31, установленному на расстоянии 1,3 километра от пограничного знака № VI/30, на равнинной местности.

От пограничного знака № VI/31 в 350 метрах линия границы пересекает почти пополам озеро, идет по озеру на протяжении 200 метров, и далее по равнинной местности к пограничному знаку № VI/32, установленному на расстоянии 1,8 километра от пограничного знака № VI/31, на ровном скате, имеющем постепенное повышение к югу от озера Зангя нур.

От пограничного знака № VI/32 линия границы проходит по равнинной, мало-пересеченной местности, в 450 метрах южнее озера Зангя нур, до главного пограничного знака № VII/33 Силинь худук, установленного на расстоянии 1,9 километра от пограничного знака № VI/32 на равнинной местности в 1,0 километра юго-восточнее озера Зангя нур.

7. От главного пограничного знака № VII/33 Силинь худук линия границы проходит по прямой линии в юго-восточном направлении до главного пограничного знака № VIII/52 Номун Хан Бурд обо через промежуточные пограничные знаки № VII/34 — № VII/51.

На этом участке от главного пограничного знака № VII/33 Силинь худук линия границы проходит по ровной, изредка пересеченной заболоченными участками местности, в 600 метрах от этого пограничного знака пересекает полевою дорожку, идущую с юго-запада на северо-восток и идет к пограничному знаку № VII/34, установленному на расстоянии 1,7 километра от пограничного знака № VII/33, на степной равнине.

От пограничного знака № VII/34 линия границы проходит на протяжении 1,4 километра вдоль лощины, по равнинной, слегка всхолмленной местности, затем переходит на небольшую возвышенность и идет к пограничному знаку № VII/35.

От пограничного знака № VII/35 линия границы в расстоянии 1,0 километра пересекает солончаковую низину и проходит в 150 метрах юго-западнее озера, что в этой низине и в 300 метрах восточнее бархана Басикан Ганга, далее граница проходит по возвышенности к пограничному знаку № VII/36, установленному на расстоянии 2,0 километра от пограничного знака № VII/35 на гребне небольшой возвышенности, в 400 метрах к востоку-юго-востоку от бархана Басикан Ганга и в 400 метрах к югу от озера.

От пограничного знака № VII/36 на протяжении 1.4 километра линия границы идет, пересекая ложину со слегка заболоченным дном, затем поднимается по отлогому скату холма к пограничному знаку № VII/37, установленному на возвышенности, расположенной между двумя ложинами.

От пограничного знака № VII/37 линия границы идет, спускаясь по отлогому скату, в широкую ложину и пересекает ее, в 1.5 километра от этого пограничного знака линия границы пересекает западный берег пересыхающего озера Энгелу нур (сол.), на протяжении 70 метров проходит по этому озеру и идет к пограничному знаку № VII/38, установленному на расстоянии 1.6 километра от пограничного знака № VII/37, у южного берега озера Энгелу нур (сол.).

От пограничного знака № VII/38 на протяжении 1.2 километра линия границы идет по ровному скату с увеличением крутизны по мере приближения к пограничному знаку № VII/39, установленному на возвышенности, тянущейся с запада на восток, в 700 метрах к востоку от озера Дзягудзин нур (сол.).

От пограничного знака № VII/39 линия границы проходит по равнинной местности, в 450 метрах пересекает незначительную по глубине ложину, направляющуюся к западу, к озеру Дзягудзин нур (сол.), и далее идет к пограничному знаку № VII/40, установленному на расстоянии 1.0 километра от пограничного знака № VII/39, на южном скате пологой возвышенности.

От пограничного знака № VII/40 линия границы пересекает тальвег ложины, что к востоку от озера Хозуй нур (сол.), и далее, поднимаясь по ровному, отлогому скату, идет к пограничному знаку № VII/41, установленному на расстоянии 1.8 километра от пограничного знака № VII/40 на слегка всхолмленной местности.

От пограничного знака № VII/41 на протяжении 1.7 километра линия границы идет по слегка поднимающемуся к юго-востоку ровному скату к пограничному знаку № VII/42, установленному на пологой возвышенности.

От пограничного знака № VII/42 на протяжении 1.1 километра линия границы проходит по пересеченной местности и далее идет к пограничному знаку № VII/43, установленному на расстоянии 1.4 километра от пограничного знака № VII/42, на равнинной местности.

От пограничного знака № VII/43 на протяжении 1.4 километра до пограничного знака № VII/44, установленного на западном скате пологой, слегка выдающейся возвышенности, линия границы пересекает две ложины, расположенные поблизости от каждого из пограничных знаков, и хребтик, расположенный примерно по середине между ними.

От пограничного знака № VII/44 на протяжении 1.2 километра линия границы проходит по ровной со слабой растительностью местности до пограничного знака № VII/45, и далее на протяжении 1.1 километра идет по равнинной, слегка заболоченной местности к пограничному знаку № VII/46; затем на протяжении 1.4 километра линия границы идет по равнинной местности к пограничному знаку № VII/47, установленному в 120 метрах от вершины на восточном скате песчаного холма.

От пограничного знака № VII/47 линия границы проходит, спускаясь по отлогому скату протяжением 900 метров, затем пересекает небольшую ложину и вершину небольшого холма, далее пересекает ложину шириною около 400 метров и идет к пограничному знаку № VII/48, установленному на расстоянии 2.0 километра от пограничного знака № VII/47 на окраине низины, проходящей с запада на восток.

От пограничного знака № VII/48 линия границы проходит по равнине с отдельными заболоченными участками, в 1.4 километра от пограничного знака № VII/48 линия границы проходит в 100 метрах западнее озера Удзур-ус, и далее по пересеченной барханами и ямами местности идет к пограничному знаку

№ VII/49, установленному на расстоянии 2.1 километра от пограничного знака № VII/48, на барханах в 500 метрах к югу от озера Удзур ус.

От пограничного знака № VII/49 на протяжении примерно 300 метров граница проходит по небольшим песчаным барханам и ямам, поросшим слабой растительностью, и далее по слегка заболоченной равнине идет к пограничному знаку № VII/50, установленному на расстоянии 1.8 километра от пограничного знака № VII/49, на восточном скате возвышенности.

От пограничного знака № VII/50 на протяжении 1.0 километра линия границы проходит, спускаясь по ровному скату, к пограничному знаку № VII/51, установленному на южном скате пологой возвышенности, покрытой слабой растительностью.

От пограничного знака № VII/51 линия границы проходит, спускаясь по скату на протяжении 700 метров, далее — по восточной стороне большой ямы, находящейся в 1.0 километра от пограничного знака № VII/51; далее линия границы идет по незначительному подъему к главному пограничному знаку № VIII/52 Номун Хан Бурд обо, установленному на расстоянии 1.5 километра от пограничного знака № VII/51, на небольшом отроге песчаного бархана, в 50 метрах к западу от края песчаной лощины и в 10 метрах южнее впадающей в нее поросшей травой лощины.

8. От главного пограничного знака № VIII/52 Номун Хан Бурд обо линия границы проходит по прямой в восточно-юго-восточном направлении до главного пограничного знака № IX/71 Хулат улийн обо через промежуточные пограничные знаки № VIII/53 — № VIII/70.

На этом участке от главного пограничного знака № VIII/52 Номун Хан Бурд обо на протяжении 1.2 километра линия границы проходит, спускаясь по местности с песчаными барханами и ямами, поросшей кустарником, до погранич-

ного знака № VIII/53, установленного на барханах, поросшем редким кустарником, в 600 метрах к северо-западу от реки Хайластын гол.

От пограничного знака № VIII/53 на протяжении 1.4 километра линия границы проходит по песчаным барханам и ямам, пересекая в 600 метрах от пограничного знака № VIII/53 реку Хайластын гол, поднимаясь от реки по ровному скату к пограничному знаку № VIII/54, установленному на возвышенности.

От пограничного знака № VIII/54 линия границы проходит, спускаясь по скату возвышенности, в 500 метрах пересекает ручей и далее поднимается по отлогому скату к пограничному знаку № VIII/55, установленному на расстоянии 1.4 километра от пограничного знака № VIII/54.

От пограничного знака № VIII/55 линия границы идет вниз по скату, в 500 метрах пересекает тальвег отлогой лощины, тянущейся на юг от озера; далее проходит, поднимаясь по скату, к пограничному знаку № VIII/56, установленному на расстоянии 1.6 километра от пограничного знака № VIII/55, на песчаной возвышенности, изрезанной ямами.

От пограничного знака № VIII/56 линия границы на протяжении 250 метров проходит, спускаясь по пересеченному отдельными ямами и барханами скату возвышенности, поросшей слабой растительностью, и далее поднимается по отлогому скату до пограничного знака № VIII/57, установленного на расстоянии 1.1 километра от пограничного знака № VIII/56 на юго-западном скате песчаного холма, изрытого ямами.

От пограничного знака № VIII/57 линия границы проходит по равнинной местности, пересекая в 700 метрах небольшой песчаный бархан, и далее на протяжении 1.1 километра идет к пограничному знаку № VIII/58, установленному на равнине.

От пограничного знака № VIII/58 линия границы на протяжении 900 метров

проходит сначала по равнине, а затем по песчаным ямам и барханам и идет к пограничному знаку № VIII/59, установленному на расстоянии 1.2 километра от пограничного знака № VIII/58, на юго-юго-восточном скате песчаного бархана, в 90 метрах от вершины его, вблизи мелких кустов.

От пограничного знака № VIII/59 линия границы пересекает на протяжении 1.6 километра слегка всхолмленную равнину с редким кустарником, окруженную со всех сторон отдельными барханами, затем линия границы идет по резко пересеченной барханами и ямами местности к пограничному знаку № VIII/60, установленному на расстоянии 1.9 километра от пограничного знака № VIII/59, на одном из группы барханов, в 50 метрах к западу от глубокой ямы.

От пограничного знака № VIII/60 линия границы, проходя по равнине с редким кустарником, в 600 метрах пересекает слегка заболоченный тальвег долины и далее на протяжении 600 метров идет к пограничному знаку № VIII/61, установленному на равнине, поросшей густой травой, в 300 метрах к северу от отдельного песчаного бархана, поросшего редким кустарником.

От пограничного знака № VIII/61 на протяжении 1.8 километра линия границы идет по ровной местности к пограничному знаку № VIII/62, установленному на юго-западной оконечности песчаного бархана, в 800 метрах северо-восточнее вершины бархана Тусхай манхан.

От пограничного знака № VIII/62 на протяжении 1.8 километра линия границы проходит по всхолмленной равнине к пограничному знаку № VIII/63, установленному в 700 метрах к северу от отдельного бархана.

От пограничного знака № VIII/63 линия границы проходит по равнине, в 900 метрах от пограничного знака № VIII/63 пересекает подошву песчаного бархана и идет далее по его отлогому, слегка поросшему травой скату, поднимаясь к пограничному знаку № VIII/64, установленному на расстоянии 1.0 километра от

пограничного знака № VIII/63 на северо-восточном краю большого бархана, резко обрывающегося глубокой ямой.

От пограничного знака № VIII/64 линия границы идет по местности, редко поросшей соснами.

От данного пограничного знака линия границы идет, спускаясь по барханам, пересекает дно небольшой низменности и идет далее, поднимаясь по скату отлогого песчаного холма, к пограничному знаку № VIII/65, установленному на расстоянии 800 метров от пограничного знака № VIII/64, на песчаном холме, окруженном с восточной стороны ямами и барханами.

От пограничного знака № VIII/65 на протяжении 2.1 километра линия границы идет по сильно пересеченной барханами и ямами местности с отдельными деревьями к пограничному знаку № VIII/66, установленному на песчаном бархане в 51 метре к югу от глубокой песчаной ямы.

От пограничного знака № VIII/66 на протяжении 1.6 километра линия границы, пересекая бархан, идет по слегка всхолмленной равнине с редко расположенными соснами к пограничному знаку № VIII/67, установленному на песчаной возвышенности, выдающейся над равниной, окруженной со всех сторон барханами.

От пограничного знака № VIII/67 линия границы проходит по слегка волнистой местности, окруженной со всех сторон песчаными барханами, поросшими редколесьем, и, пересекая равнину, идет к пограничному знаку № VIII/68, установленному на расстоянии 2.0 километра от пограничного знака № VIII/67, на песчаном бархане.

От пограничного знака № VIII/68 линия границы спускается с песчаного бархана и проходит по равнине с редко расположенными соснами, затем, пересекая барханы и ямы, подходит к пограничному знаку № VIII/69, установленному на расстоянии 1.8 километра от пограничного знака № VIII/68 на юго-западном

склоне бархана, в 80 метрах от его вершины.

От пограничного знака № VIII/69 линия границы спускается по склону бархана в глубокую яму и далее, поднявшись по скату, проходит по равнине, пересекаемой барханами и ямами, до пограничного знака № VIII/70, установленного на расстоянии 1.8 километра от пограничного знака № VIII/69, на песчаном бархане, в 180 метрах к юго-юго-востоку от бархана с пнями от вырубленного леса.

От пограничного знака № VIII/70 линия границы на протяжении 500 метров проходит по пересеченной местности, а затем поднимается по западному склону возвышенности Хулат улийн обо, поросшему редколесью, и идет к главному пограничному знаку № IX/71 Хулат улийн обо, установленному на расстоянии 2.5 километра от пограничного знака № VIII/70, на вершине возвышенности Хулат улийн обо.

9. Линия государственной границы от главного пограничного знака № IX/71 Хулат улийн обо проходит по прямой на юг до главного пограничного знака № X/79 Эрис улийн обо через промежуточные пограничные знаки от № IX/72 до № IX/78.

На этом участке линия границы от главного пограничного знака № IX/71 Хулат улийн обо идет, спускаясь по склону высоты Хулат улийн обо, и от подножья данной высоты проходит по местности, пересеченной песчаными барханами и ямами к пограничному знаку № IX/72, установленному на расстоянии 2.4 километра от главного пограничного знака № IX/71 Хулат улийн обо, на южной гряде песчаных барханов, тянущейся с востока на запад.

От пограничного знака № IX/72 линия границы на протяжении примерно 400 метров проходит по полосе барханов, затем на протяжении 2.0 километра по отлогому лугу — через пограничный знак № IX/73, установленный на песчаном бархане, на южной стороне небольшой ямы; далее, проходя на протяжении 1.1 километра по ровному лугу, доходит до пограничного знака № IX/74, установленного

на южном краю оврага.

От пограничного знака № IX/74 линия границы проходит по заболоченной с небольшим ручьем местности, шириною примерно в 200 метров, поросшей травой высотой до 1 метра, затем, поднимаясь на протяжении 1.7 километра по пологому скату, идет к пограничному знаку № IX/75, установленному на расстоянии 2.2 километра от пограничного знака № IX/74, на скате, что в 250 метрах юго-восточнее небольшого холма.

От пограничного знака № IX/75 линия границы идет по всхолмленному лугу, что у подножья восточной стороны небольшого горного хребта, тянущегося на юг; через 600 метров проходит пограничный знак № IX/76 и далее на расстоянии 1.6 километра от него — через пограничный знак № IX/77 и далее отсюда на расстоянии 1.7 километра подходит к пограничному знаку № IX/78, установленному на восточном выступе высоты вышеуказанного хребта.

От пограничного знака № IX/78 линия границы идет на протяжении примерно 700 метров по юго-восточному скату возвышенности, проходит по восточному скату выступа этой возвышенности, затем спускается по скату этого выступа, пересекает лощину и идет к главному пограничному знаку № X/79 Эрис улийн обо, установленному на расстоянии 1.9 километра от пограничного знака № IX/78, на небольшом холме, относительная высота которого равна примерно 20 метрам.

10. От главного пограничного знака № X/79 Эрис улийн обо линия государственной границы проходит по прямой на востоко-юго-восток до главного пограничного знака № XI/83 Ондр через промежуточные пограничные знаки № X/80 — № X/82.

На этом участке линия границы на расстоянии 700 метров от главного пограничного знака № X/79 Эрис улийн обо пересекает дорогу шириною в 2 метра, идущую примерно с севера на юг, и далее на протяжении 700 метров проходит по ровному лугу к пограничному знаку № X/80, затем на протяжении 700 метров

спускается по отлогому скату к пограничному знаку № X/81, установленному на одном из группы барханов, имеющей две небольших ямы.

Для того, чтобы открыть видимость между пограничными знаками № X/80 и № X/81, в 200 метрах от пограничного знака № X/81 в двух местах по линии границы прорыт ров шириной в 3 метра и глубиной примерно в 2 метра.

От пограничного знака № X/81 линия границы, спустившись на протяжении 200 метров по скату, пересекает ровное, заболоченное, кочковатое дно лощины шириною в 100 метров, далее на протяжении 200 метров линия границы идет по террасе, затем на протяжении 1.0 километра поднимается по крутому скату и доходит до пограничного знака № X/82, установленного в 1.6 километра от пограничного знака № X/81.

От пограничного знака № X/82 на протяжении 600 метров линия границы идет по северному крутому скату возвышенности и доходит до главного пограничного знака № XI/83 Ондр, установленного на вершине высоты Ондр.

11. От главного пограничного знака № XI/83 Ондр линия государственной границы идет по прямой в востоко-юго-восточном направлении к главному пограничному знаку № XII/96 Харат улаин обо через промежуточные пограничные знаки № XI/84 и № XI/95.

На этом участке от главного пограничного знака № XI/83 Ондр линия границы на протяжении 1.1 километра идет по южному скату хребта, тянущегося на восток от высоты Ондр примерно параллельно этому хребту, и доходит до пограничного знака № XI/84, установленного на скате возвышенности. Далее линия границы на протяжении 1.2 километра пересекает начало лощины, тянущейся примерно с востока на запад, и доходит до пограничного знака № XI/85, установленного к северо-северо-востоку от седловины хребта, тянущегося с юга на север. Далее, отсюда на протяжении 800 метров линия границы идет по не-

большой лощине и по южному скату отрога хребта, тянущегося в юго-восточном направлении, к пограничному знаку № XI/86, установленному на этом отроге хребта.

От пограничного знака № XI/86 линия границы спускается по северному скату этого отрога хребта, пересекает поросшее густой травой дно лощины, шириною примерно в 120 метров, и далее идет по тальвегу небольшого ответвления лощины, тянущегося в востоко-юго-восточном направлении, и, поднимаясь по скату, доходит до пограничного знака № XI/87, установленного в 1.9 километра от пограничного знака № XI/86, на отроге хребта. Далее на протяжении 400 метров линия границы идет по скату возвышенности к пограничному знаку № XI/88, установленному на линии гребня к северо-востоку от седловины главного хребта, тянущегося примерно с юга на север.

От пограничного знака № XI/88 линия границы на протяжении 400 метров идет вдоль отрога хребта, тянущегося от высоты, что северо-восточнее этого пограничного знака, и подходит к пограничному знаку № XI/89, затем на протяжении 400 метров идет к пограничному знаку № XI/90, далее на протяжении 600 метров спускается по этому же отрогу и входит в небольшую лощину и идет по ней на протяжении 700 метров к пограничному знаку № XI/91, установленному в тянущейся с юга на север лощине с ровным дном шириною примерно в 300 метров.

От пограничного знака № XI/91 линия границы пересекает указанную лощину, проходит через южную оконечность небольшого хребта и через небольшую лощину, поднимается на протяжении 300 метров по крутому скату и доходит до пограничного знака № XI/92, установленного в 1.0 километра от пограничного знака № XI/91.

От пограничного знака № XI/92 линия границы спускается по скату, на дно

лощины и затем поднимается по противоположному скату на гребень хребта, идущего с севера на юг, к пограничному знаку № XI/93, установленному на расстоянии 1.0 километра от пограничного знака № XI/92, к югу от седловины.

От пограничного знака № XI/93 линия границы спускается по отрогу хребта, тянущегося на восток от высоты, что в 300 метрах юго-восточнее этого пограничного знака, и на расстоянии 1.3 километра входит в небольшую лощину, проходит по северной стороне ее на протяжении 500 метров, и подходит к пограничному знаку № XI/94, установленному на краю небольшого отрога.

От пограничного знака № XI/94 линия границы на протяжении 600 метров проходит по гребню отрога и поднимается к пограничному знаку № XI/95, установленному на главном гребне этого хребта. Далее линия границы на протяжении 1.8 километра спускается по восточному скату этого хребта, пересекает тальвеги двух лощин, затем поднимается по западному скату высоты Харат улаин обо и доходит до главного пограничного знака № XII/96 Харат улаин обо, установленного на вершине высоты Харат улаин обо.

12. От главного пограничного знака № XII/96 Харат улаин обо линия государственной границы идет в общем юго-юго-западном направлении по ломаной линии к главному пограничному знаку № XIII/101 Улзур через промежуточные пограничные знаки № XII/97 — № XII/100.

На этом участке от главного пограничного знака № XII/96 Харат улаин обо линия границы на протяжении 1.5 километра идет по прямой в юго-западном направлении, пересекает две лощины и доходит до пограничного знака № XII/97, установленного на линии гребня, тянущегося на юго-восток.

От пограничного знака № XII/97 линия границы поворачивает на юго-юго-запад и, идя по прямой, спускается по южному скату этого гребня, входит в лощину и, пройдя 1.1 километра, доходит до пограничного знака № XII/98, уста-

новленного на западном скате этой лощины.

От пограничного знака № XII/98 линия границы поворачивает на юго-запад и на протяжении 1.3 километра идет по прямой почти вдоль дна лощины к пограничному знаку № XII/99, установленному на лугу восточной стороны этой лощины.

От пограничного знака № XII/99 линия границы поворачивает на юго-юго-запад и на протяжении 700 метров идет по прямой по ровному лугу к пограничному знаку № XII/100, установленному на западном краю гряды песчаных барханов, тянующихся с востока на запад, относительная высота которых равна примерно 25 метрам.

От пограничного знака № XII/100 линия границы пересекает по прямой в том же направлении луг на протяжении 1.4 километра, переходит старое русло реки Халхин гол, поросшее густым кустарником ивняка, и затем, пройдя еще 600 метров по лугу, доходит до главного пограничного знака № XIII/101 Улзур, установленного на линии границы в 250 метрах от реки Халхин гол.

От этого главного пограничного знака № XIII/101 Улзур линия границы переходит с суши на воду.

13. От главного пограничного знака № XIII/101 Улзур линия государственной границы идет по середине главного русла реки Халхин гол через промежуточные пограничные знаки № XIII/102 — № XIII/108 и между промежуточными пограничными знаками № XIII/109 и № XIII/110 входит в главное русло реки Нумургин гол, затем идет вверх по середине ее главного русла через промежуточные пограничные знаки № XIII/110 — № XIII/115 и на промежуточном пограничном знаке № XIII/116 входит в ручей Худжир. Далее линия государственной границы идет через промежуточные пограничные знаки № XIII/117 — № XIII/119 до главного пограничного знака № XIV/120 Бельчир; здесь линия государственной границы переходит с воды на сушу.

На этом участке ширина реки Халхин гол равна 20—50 метрам, глубина — в среднем 1.5 метра, дно реки — каменистое; русло реки имеет сложные изгибы, образуя местами островки или озера по старому руслу. По обоим берегам реки во многих местах имеются густые заросли ивняка, диаметр деревьев которого достигает 30 сантиметров.

Ширина реки Нумургин гол равна 20—30 метрам, глубина в среднем 1 метр, дно реки — песчаное или каменистое. Русло имеет особенно много изгибов. По обоим берегам реки во многих местах имеются заросли ивняка.

Ширина ручья Худжир равна примерно 1 метру, глубина примерно 40 сантиметрам. По обоим берегам имеются болотистые места, поросшие густой травой, высотой до 1 метра.

От главного пограничного знака № XIII/101 Улзур линия границы на реке Халхин гол на протяжении 4.6 километра идет в общем восточном направлении вверх по течению, по изгибам реки Халхин гол, до пограничного знака № XIII/102, находящегося у устья реки Хандагай. Далее линия границы идет в общем юго-восточном направлении вверх по течению 4.5 километра до пограничного знака № XIII/103. На этом участке острова № 47 и № 48 принадлежат Монгольской Народной Республике.

От пограничного знака № XIII/103 линия границы идет в общем юго-восточном направлении на протяжении 4.5 километра вверх по течению до пограничного знака № XIII/104 и далее идет в том же направлении на протяжении 5.5 километра до пограничного знака № XIII/105. На этом участке остров № 50 принадлежит Монгольской Народной Республике, а острова № 49 и № 51 принадлежат Манчжоу-Ди-Го.

От пограничного знака № XIII/105 линия границы идет в общем южном направлении на протяжении 600 метров вверх по течению до пограничного знака

№ XIII/106, далее идет в общем юго-восточном направлении на протяжении 3.1 километра к пограничному знаку № XIII/107, затем в том же направлении на протяжении 1.8 километра идет к пограничному знаку № XIII/108 и далее в общем восточном направлении на протяжении 1.6 километра — к пограничному знаку № XIII/109. На этом участке острова № 53 и № 54 принадлежат Монгольской Народной Республике, а острова № 52, № 55, № 56, № 58 и № 59 принадлежат Манчжоу-Ди-Го.

От пограничного знака № XIII/109 линия границы на протяжении примерно 120 метров идет вверх по течению реки Халхин гол, доходит до устья реки Нумургин гол и отсюда входит в данную реку.

От устья реки Нумургин гол линия границы на реке Нумургин гол идет на протяжении 700 метров в общем южном направлении вверх по течению, по ее изгибам, до пограничного знака № XIII/110, далее на протяжении 4.9 километра линия границы идет к пограничному знаку № XIII/111. На этом участке остров № 57 принадлежит Монгольской Народной Республике.

От пограничного знака № XIII/111 линия границы идет вверх по течению, по изгибам реки, в общем юго-восточном направлении на протяжении 10.5 километра, проходит пункт весьма тесный с обеих сторон обрывистыми горами и доходит до пограничного знака № XIII/112. Далее отсюда линия границы поворачивает в общем на востоко-юго-восток и идет на протяжении 2.6 километра к пограничному знаку № XIII/113. На этом участке остров № 60 принадлежит Монгольской Народной Республике.

От пограничного знака № XIII/113 линия границы на протяжении 5.2 километра идет по очень сложным изгибам в общем южном направлении к пограничному знаку № XIII/114, затем на протяжении 4.9 километра линия границы идет в том же направлении к пограничному знаку № XIII/115 и далее, пройдя в

в общем юго-восточном направлении 3.1 километра, доходит до пограничного знака № XIII/116, установленного у устья ручья Худжир. Отсюда линия границы входит в ручей Худжир. На этом участке остров № 61 принадлежит Монгольской Народной Республике.

От пограничного знака № XIII/116 линия границы на протяжении 4.8 километра идет вверх по течению в общем восточном направлении по небольшим многочисленным изгибам ручья Худжир, к пограничному знаку № XIII/117, затем на протяжении 4.8 километра линия границы идет в общем юго-восточном направлении к пограничному знаку № XIII/118 и далее на протяжении 4.0 километра идет в том же направлении к пограничному знаку № XIII/119 и затем отсюда на протяжении 3.0 километра идет в том же направлении до главного пограничного знака № XIV/120 Бельчир. Здесь линия границы переходит с воды на сушу.

Надземный знак этого главного пограничного знака установлен в 285 метрах от ручья Худжир, а его пограничный столб на противоположном берегу установлен на расстоянии 70 метров от ручья Худжир в створе сухопутной линии границы.

14. От главного пограничного знака № XIV/120 Бельчир линия государственной границы идет по прямой в юго-юго-восточном направлении к главному пограничному знаку № XV/123 Хадта ула через промежуточные пограничные знаки № XIV/121 и № XIV/122.

На этом участке от главного пограничного знака № XIV/120 Бельчир линия государственной границы на протяжении 500 метров поднимается по северо-восточному скату возвышенности к пограничному знаку № XIV/121, установленному на линии гребня этой возвышенности. Отсюда линия границы спускается по скату, пересекает болотистое, поросшее густой травой, дно лощины шириной примерно в 70 метров, снова поднимается по северному склону возвы-

шенности Хадта ула и доходит до пограничного знака № XIV/122, установленного в 2.3 километра от пограничного знака № XIV/121 на пункте перелома ската. Далее отсюда на протяжении 100 метров линия границы идет к главному пограничному знаку № XV/123 Хадта ула. Этот главный пограничный знак установлен на северной стороне большого камня, выступающего на площадке вершины высоты Хадта ула.

15. От главного пограничного знака № XV/123 Хадта ула линия государственной границы идет по прямой в юго-восточном направлении к главному пограничному знаку № XVI/126 Ногота ула через промежуточные пограничные знаки № XV/124 и № XV/125.

На этом участке от главного пограничного знака № XV/123 Хадта ула линия границы спускается по склону возвышенности Хадта ула, пересекает две небольших лощины, снова поднимается по скату возвышенности и доходит до пограничного знака № XV/124, установленного в 1.4 километра от главного пограничного знака № XV/123 на линии небольшого гребня.

От пограничного знака № XV/124 линия границы спускается по южному скату, проходит через дно лощины, шириной примерно в 80 метров и снова поднимается по противоположному скату и доходит до пограничного знака № XV/125 установленного в 1.7 километра от пограничного знака № XV/124, на хребте, тянущемся примерно с востока на запад.

От пограничного знака № XV/125 линия границы спускается в лощину по южному скату хребта, затем поднимается по северному скату высоты Ногота ула и доходит до главного пограничного знака № XVI/126 Ногота ула. Этот главный пограничный знак установлен в 1.9 километра от пограничного знака № XV/125 по середине вершины высоты Ногота ула, имеющей ровную площадку.

16. От главного пограничного знака № XVI/126 Ногота ула линия государствен-

ной границы идет по прямой в юго-юго-восточном направлении до главного пограничного знака № XVII/132 Амаралтин ула через промежуточные пограничные знаки № XVI/127 — № XVI/131.

На этом участке от главного пограничного знака № XVII/126 Ногота ула линия границы идет по восточному скату хребта, тянущегося примерно на юг от высоты Ногота ула, и доходит до пограничного знака № XVI/127, установленного в 1.3 километра от пограничного знака № XVII/126. На этом участке в пункте перелома ската высоты Ногота ула, на расстоянии 62 метров от главного пограничного знака, что на высоте Ногота ула, линия границы проходит через вспомогательный пограничный знак, состоящий из кучи камней, скрепленных бетоном, диаметр которой равен 1.2 метра, а высота — 1 метру.

От пограничного знака № XVI/127 линия границы постепенно спускается по склону примерно параллельно отрогу хребта, тянущегося на юг, пересекает ложину с ручьем и заболоченным дном, затем поднимается по крутому скату и доходит до пограничного знака № XVII/128, установленного в 2.6 километра от пограничного знака № XVI/127, на линии гребня. На этом участке в пункте, находящемся на расстоянии 1.0 километра от пограничного знака № XVI/127, линия границы проходит через вспомогательный пограничный знак, одинаковый по форме и размерам с вышеуказанным.

От пограничного знака № XVI/128 линия границы спускается по скату, проходит через две небольших ложины с узким дном и через два небольших гребня, перемежающиеся с этими ложинами, и доходит до пограничного знака № XVI/129, установленного в 1.3 километра от пограничного знака № XVI/128, на хребте, тянущемся на юго-запад. Далее линия границы спускается по крутому скату, пересекает ложину с ручьем и заболоченным дном, шириною примерно 100 метров, снова поднимается по скату подножья высоты и доходит до

пограничного знака № XVII/130, установленного в 1.0 километра от пограничного знака № XVI/129.

От пограничного знака № XVII/130 линия границы спускается по скату, пересекает наискось дно лощины шириною примерно в 70 метров, затем поднимается по скату и доходит до пограничного знака № XVI/131, установленного в 1.2 километра от пограничного знака № XVII/130 на линии гребня, тянущегося примерно на северо-запад, далее на протяжении примерно 200 метров линия границы проходит примерно параллельно линии гребня и доходит до главного пограничного знака № XVII/132 Амаралтин ула. Этот главный пограничный знак установлен на острой вершине высоты Амаралтин ула.

Настоящее описание прохождения линии государственной границы составлено в четырех экземплярах, из которых 2 на русском и 2 на японском языках.

г. Харбин.

15 " октября 31 года Монгольской Народной Республики, что соответствует 15 " октября 8 года Кандэ.

УПОЛНОМОЧЕННЫЕ
МОНГОЛЬСКОЙ НАРОДНОЙ
РЕСПУБЛИКИ

М. П. СМОРНОВ
М. П. ДОРЖИ

УПОЛНОМОЧЕННЫЕ
МАНЧЖОУ-ДИ-ГО

下 博
村 彦
信 滿
禎 都
印 印

ПРИЛОЖЕНИЕ № 5
к итоговому протоколу о работе Смешанной
Комиссии по уточнению государственной
границы на местности между Монгольской
Народной Республикой и Манчжоу-Ди-Го в
районе конфликта 1939 года (6 года Кандэ).

ОПИСАНИЕ ПОГРАНИЧНЫХ ЗНАКОВ

1. Каменный знак надземного центрального знака высечен из гранита. Верхняя часть его представляет собой четырехгранную правильную пирамиду со стороной основания в 20 сантиметров и с высотой в 5 сантиметров; средняя часть — усеченную четырехгранную правильную пирамиду со стороной верхнего основания 20 сантиметров, нижнего основания — 30 сантиметров и с высотой — 40 сантиметров; нижняя часть — куб со стороной 30 сантиметров. Верхняя и средняя части каменного знака отшлифованы.

На средней части каменного знака выгравировано: на стороне, обращенной к территории Монгольской Народной Республики: «Монгольская Народная Республика», а на стороне, расположенной вправо от нее, — «30 год Монгольской Народной Республики» и «Центральный знак №.....»; на стороне, обращенной к территории Манчжоу-Ди-Го: «Манчжоу-Ди-Го»; а на стороне, расположенной вправо от нее, — «7 год Кандэ» и «Центральный знак №.....». Вышеуказанные надписи выгравированы на родном языке каждой страны, а номера центрального знака — римскими цифрами.

Основание надземного центрального знака состоит из двух частей, изготовленных из бетона, состоящего из одной части цемента, двух частей песка и четырех частей гальки. Нижняя часть основания с квадратным сечением со стороной в 100 сан-

тиметров и с высотой в 140 сантиметров, находится на 100 сантиметров в земле; верхняя часть основания имеет квадратное сечение со стороной в 70 сантиметров и высоту в 40 сантиметров.

2. Плита — подземный центральный знак — высечена из гранита, имеет квадратное сечение со стороной в 28 сантиметров и высоту в 9 сантиметров, на верхней стороне ее, имеющей ровную поверхность, в центре высечен крест.

3. Пограничные столбы изготовлены из сухих сосновых бревен и имеют в длину 320 сантиметров. Надземная часть пограничного столба длиной 206 сантиметров имеет четырехгранную форму с квадратным сечением со стороной в 22 сантиметра. Вершина столба имеет форму правильной четырехгранной пирамиды высотой в 10 сантиметров. На подземной части столба врезаны и прикреплены накрест две деревянные планки, а на заболоченной местности к основанию столба прикреплялся крестообразный деревянный помост, соединенный со столбом подпорками.

Окраска и надписи на пограничных столбах сделаны эмалевой краской. Пограничные столбы, установленные на территории Монгольской Народной Республики, окрашены чередующимися, идущими винтообразно полосами красного цвета (шириной 15 сантиметров) и синего цвета (шириной 13 сантиметров), а столбы, установленные на территории Манчжоу-Ди-Го, окрашены в белый цвет. На стороне пограничных столбов, обращенной к линии государственной границы, на расстоянии 50 сантиметров от вершины столба черной краской нарисована квадратная, со сторонами в 20 сантиметров, рамка и в ней вписан номер. На столбах на территории Монгольской Народной Республики выше этой рамки прикреплен государственный герб, отлитый из бронзы, а на столбах на территории Манчжоу-Ди-Го выше этой рамки нарисован государственный флаг, а ниже рамки вдоль столба написано: „Манчжоу-Ди-Го“.

При установлении пограничных столбов под них подложено пять небольших камней и битое стекло. Вокруг столба устроен земляной копец высотой в 10-20 сан-

тиметров с радиусом в 100 сантиметров, поверхность его выложена дерном или мелкими камнями.

4. Чертежи пограничных знаков показаны в приложениях № 1 и № 2 к этому описанию.

Настоящее описание пограничных знаков составлено в четырех экземплярах, из которых 2 на русском и 2 на японском языках.

г. Харбин.

„ 15 “ октября 31 года Монгольской Народной Республики, что соответствует

„ 15 “ октября 8 года Кандэ.

УПОЛНОМОЧЕННЫЕ
МОНГОЛЬСКОЙ НАРОДНОЙ
РЕСПУБЛИКИ

М. П. СМИРНОВ
М. П. ДОРЖИ

УПОЛНОМОЧЕННЫЕ
МАНЧЖОУ-ДИ-ГО

下村信禎
博彦満都

ПРИЛОЖЕНИЕ № 617
к итоговому протоколу о работе Смешанной
Комиссии по уточнению государственной
границы на местности между Монгольской
Народной Республикой и Манчжоу-Ди-Го в
районе конфликта 1939 года (6 года Кандэ).

**ПОЛОЖЕНИЕ
О ПОДДЕРЖАНИИ В СОХРАННОСТИ ПОГРАНИЧНЫХ
ЗНАКОВ**

Уполномоченные Монгольской Народной Республики и Уполномоченные Манчжоу-Ди-Го установили нижеследующее положение о поддержании в сохранности пограничных знаков на уточненной к 15 августа 1941 года (8 года Кандэ) границе между Монгольской Народной Республикой и Манчжоу-Ди-Го.

1. Обе стороны — Монгольская Народная Республика и Манчжоу-Ди-Го обязаны постоянно поддерживать пограничные знаки в надлежащем состоянии и в случае повреждения или разрушения пограничных знаков немедленно исправлять их или восстанавливать.

2. Исправление и восстановление надземных и подземных центральных знаков на участке государственной границы от главного пограничного знака № 1/1 Хойтэриг, что на северном берегу озера Буир нур, до главного пограничного знака № IX/71 Хулат улийн обо (включительно) возлагается на Монгольскую Народную Республику, а на участке государственной границы от главного пограничного знака № IX/71 Хулат улийн обо (исключительно) до конечного пункта уточненной государ-

ственной границы. Главного пограничного знака № XVII/132 Амаралтин ула (включительно) возлагается на Манчжоу-Ди-Го. Исправление и восстановление пограничных столбов возлагается на то государство, на территории которого они находятся.

3. Обе стороны — Монгольская Народная Республика и Манчжоу-Ди-Го при осуществлении всех работ по поддержанию в сохранности пограничных знаков, во избежание непредвиденных недоразумений, обязаны не менее как за 15 дней до начала работ информировать друг друга о дне и часе работ, о номерах исправляемых или восстанавливаемых пограничных знаков, о количестве личного состава, участвующего в работах, и прочем.

При производстве вышеуказанных исправлений или восстановлений форма пограничных знаков и местоположение их должны оставаться в полном соответствии с протоколом на надлежащий пограничный знак, приложенным к итоговому протоколу о работе Смешанной Комиссии по уточнению границы на местности между Монгольской Народной Республикой и Манчжоу-Ди-Го от 15 октября 1941 года (8-го года Кандэ).

4. В случае необходимости произвести какие-либо изменения в форме и местоположении пограничных знаков, вопрос этот решается по согласованию Правительств обоих государств.

5. В случае, когда для исправления или восстановления пограничных знаков возникает необходимость одной из сторон — Монгольской Народной Республике или Манчжоу-Ди-Го послать свою рабочую команду через границу, она информирует об

этом другую сторону не менее как за 20 дней, другая же сторона разрешает переход границы, поскольку это необходимо для выполнения работ.

6. При восстановлении пограничных знаков одной из сторон — Монгольской Народной Республикой или Манчжоу-Ди-Го, другая сторона в соответствии с необходимостью может осуществлять контроль.

7. В случае, когда одна из сторон — Монгольская Народная Республика или Манчжоу-Ди-Го сочтет необходимым произвести исправление или восстановление пограничных знаков, поддержание в сохранности которых возложено на другую сторону, то она информирует последнюю об этом.

8. Обе стороны — Монгольская Народная Республика и Манчжоу-Ди-Го в полосе шириною 50 метров от линии государственной границы на своей территории не возводят никаких новых искусственных сооружений и немедленно ликвидируют все сооружения, находящиеся в настоящее время в вышеуказанной полосе за исключением пограничных знаков.

В этой же полосе запрещают проживание людей и выпас скота.

9. Обе стороны — Монгольская Народная Республика и Манчжоу-Ди-Го в пограничной полосе, указанной в предыдущем пункте, самостоятельно по мере необходимости расчищают местность от леса и кустарника, препятствующих наблюдению за пограничными знаками.

10. Обе стороны — Монгольская Народная Республика и Манчжоу-Ди-Го расходы по работам, возложенным на каждую сторону в отдельности, как указано в пункте 2-ом настоящего положения, несут каждая из сторон в отдельности.

11. При преднамеренном или случайном повреждении или разрушении пограничных знаков необходимые расходы по исправлению и восстановлению таковых возлагаются на ту сторону, которая причинила ущерб.

12. Обе стороны — Монгольская Народная Республика и Манчжоу-Ди-Го объявляют своему населению пограничной полосы о строгом запрещении действий, наносящих повреждения пограничным знакам или изменяющих их местоположение.

Настоящее положение составлено в четырех экземплярах, из которых 2 на русском и 2 на японском языках.

г. Харбин.

15 октября 31 года Монгольской Народной Республики, что соответствует

15 октября 8 года Канда.

УПОЛНОМОЧЕННЫЕ
МОНГОЛЬСКОЙ НАРОДНОЙ
РЕСПУБЛИКИ

УПОЛНОМОЧЕННЫЕ
МАНЧЖОУ-ДИ-ГО

М. П. СМЕРНОВ

М. П. ДОРЖИ

下村 博彦
信 満
禎 都
④ ④